

平成 29 年度 食育に関する市民意識調査集計報告書

(平成 30 年 2 月 5 日現在)

1. 目的

山陽小野田市食育推進計画の推進にあたり、市民の食生活や食育に対する現状を把握し、また、数値目標の達成状況を確認することで計画の最終評価を行い、第二次計画策定のための基礎調査とする。

2. 実施期間

平成 29 年 11 月 15 日 (水) ~ 12 月 15 日 (金)

3. 調査対象者

市内小学校 5 年生及び中学校 2 年生、20 歳以上の市民

① 子ども (H29.5.1 現在参考)

小学 5 年生 526 人

中学 2 年生 525 人

② 成人 (H29.4.1 現在参考)

20 代、30 代 12,206 人

40 代、50 代 15,332 人

60 代以上 25,167 人

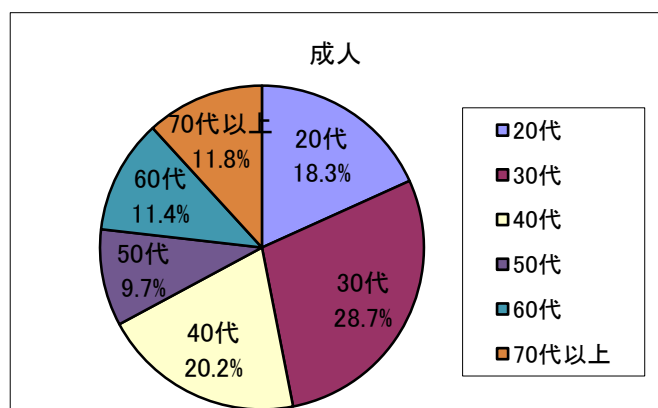
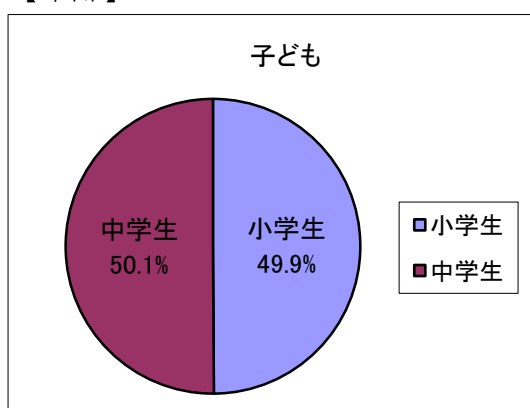
4. 方法

対象者または関係団体へ依頼

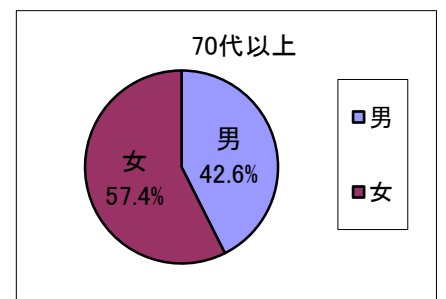
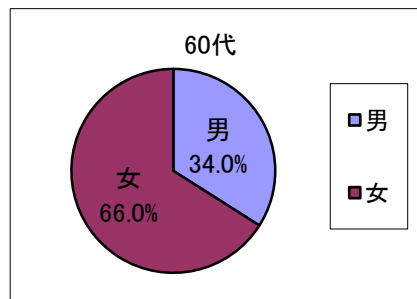
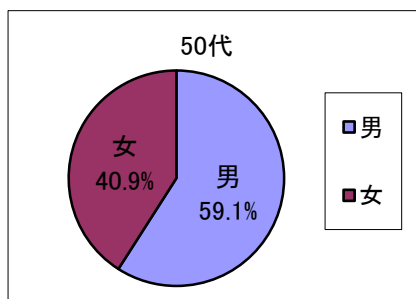
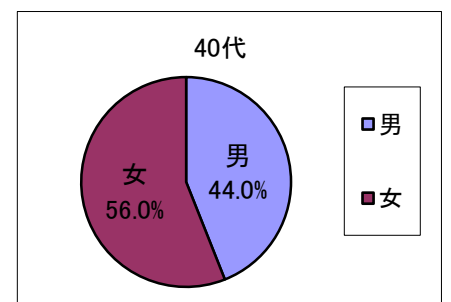
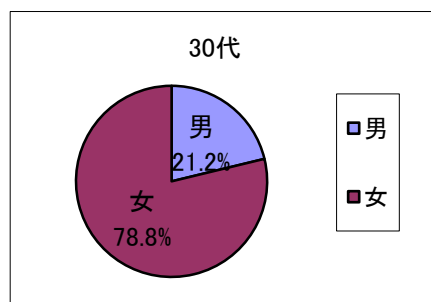
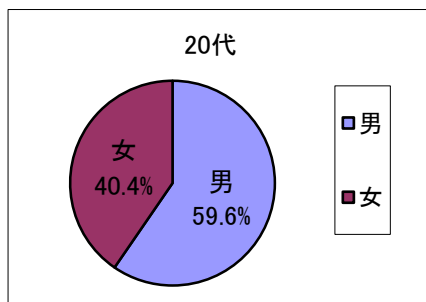
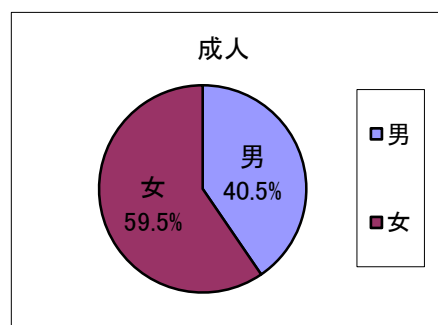
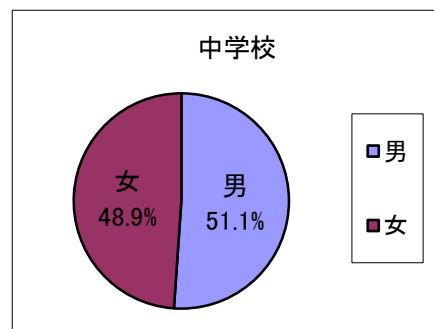
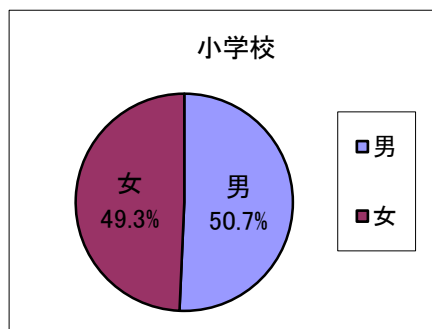
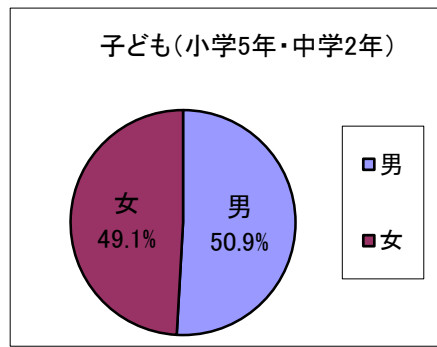
5. 回収結果

対象者	配布数	回収数	回収率
小学 5 年生	-	499	-
中学 2 年生	-	501	-
20 歳以上の市民	1,762	1315	74.6%

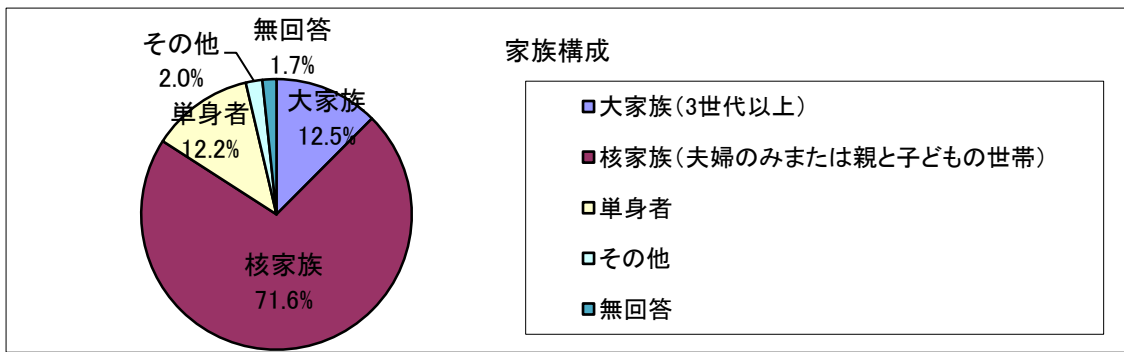
【年齢】



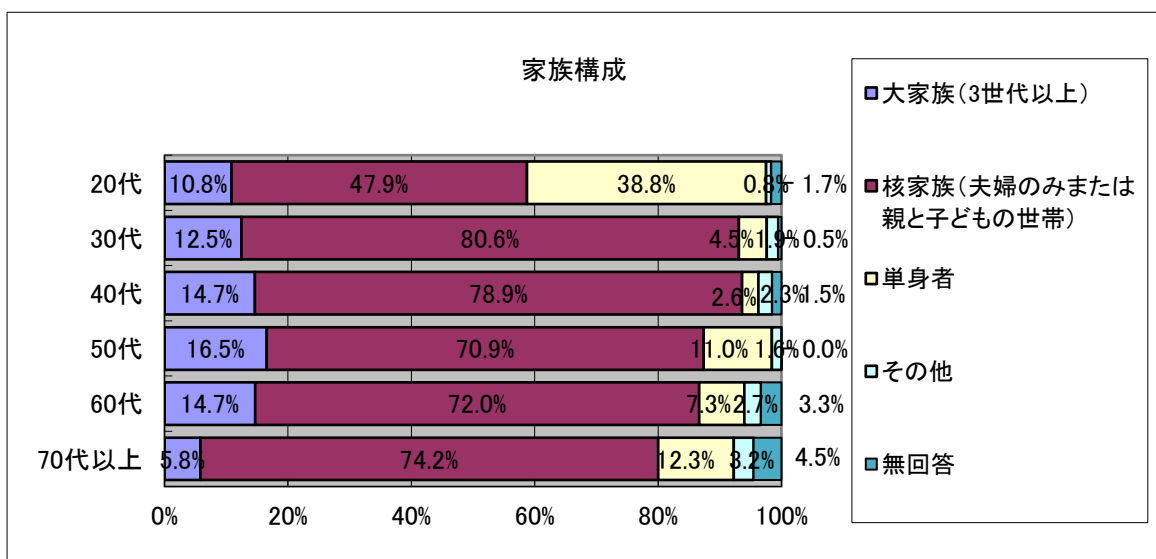
【性別】



【家族構成（成人）】

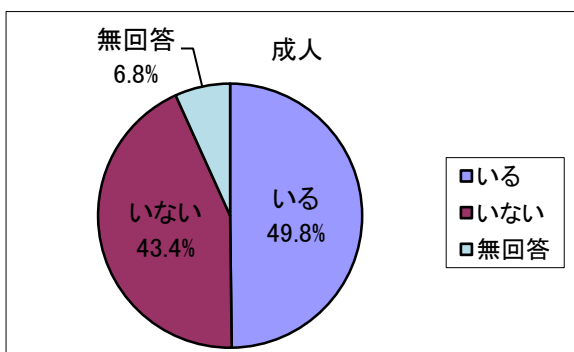


回答者の7割が核家族世帯となっています。

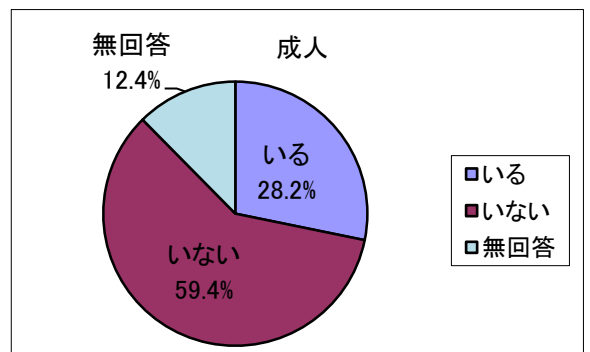


年齢別で見ると、20代の回答者は「単身者」と答えた人が38.8%となっています。

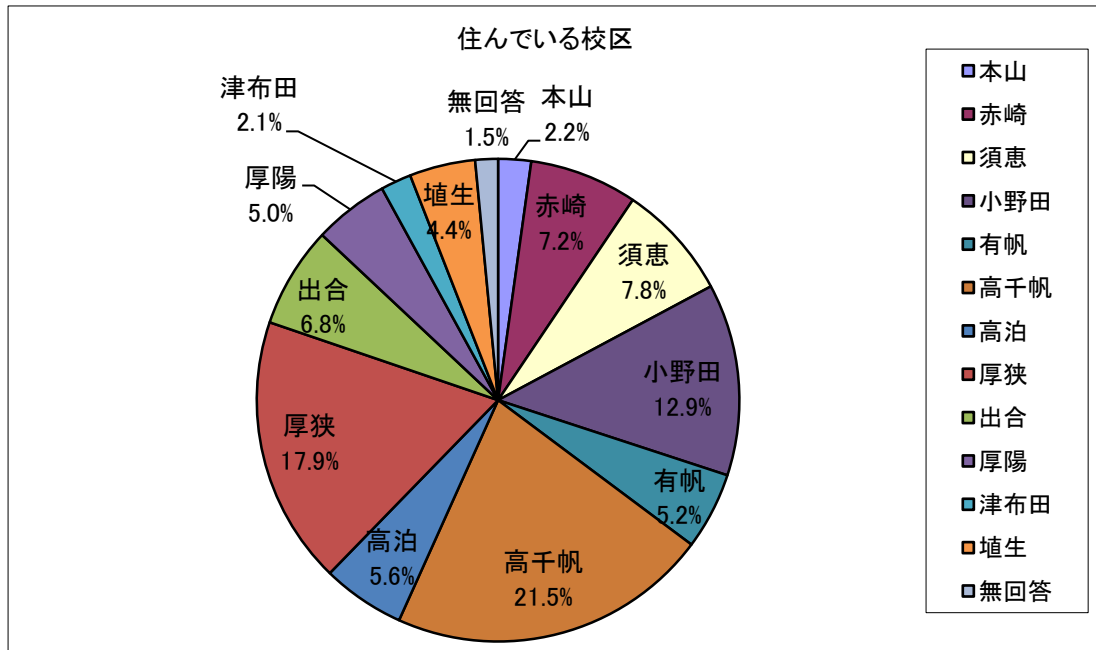
【18歳以下の子どもの有無】



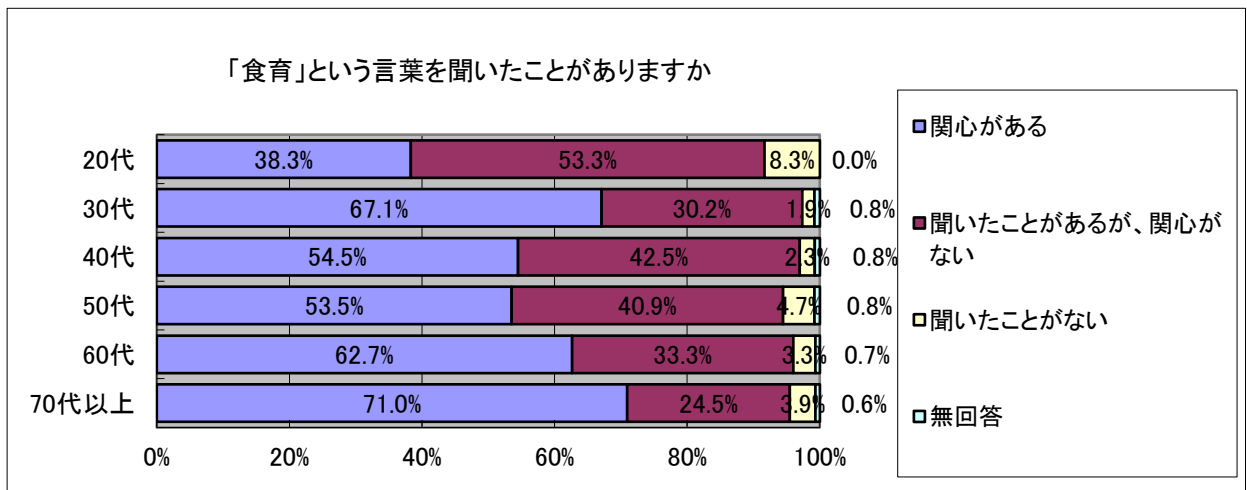
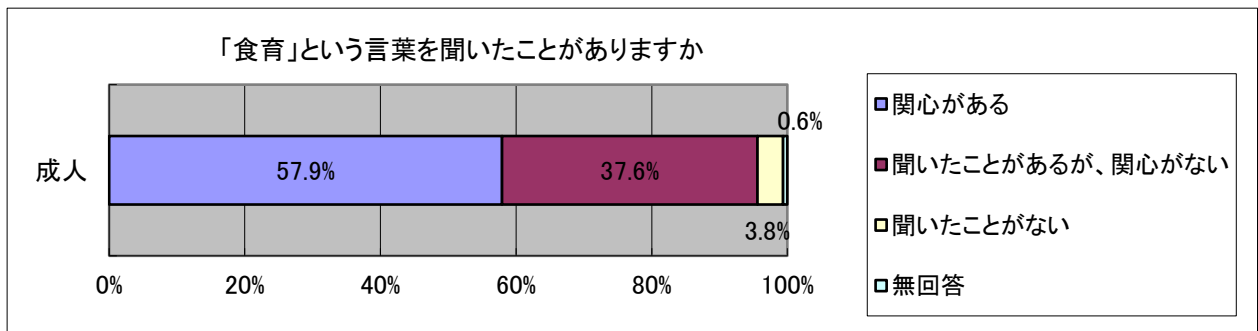
【65歳以上の高齢者の有無】



【住んでいる校区】

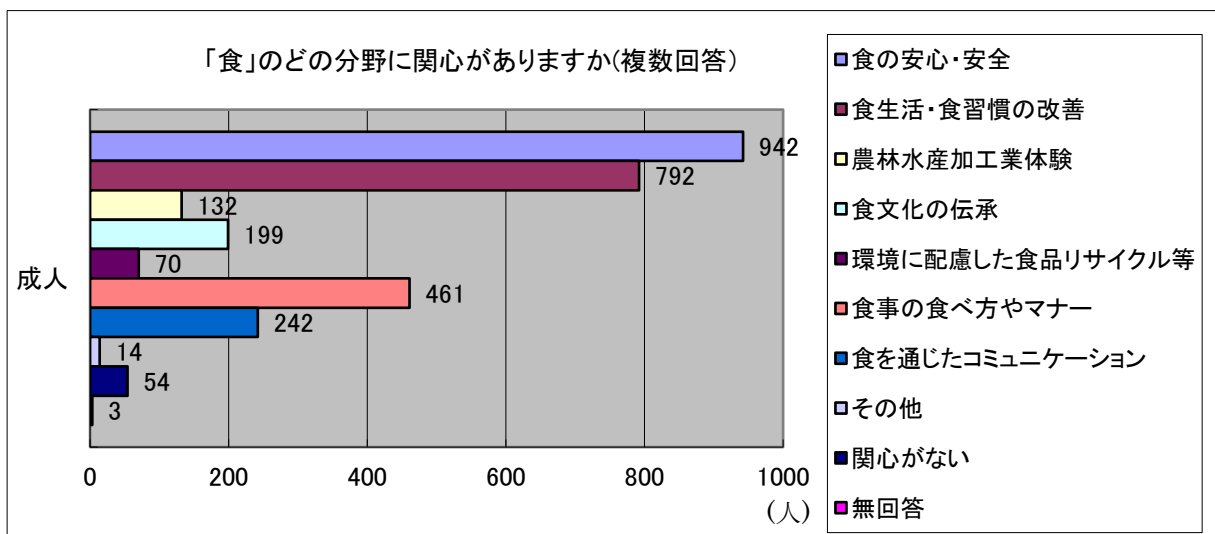


●食への関心・「食育」の認知度について

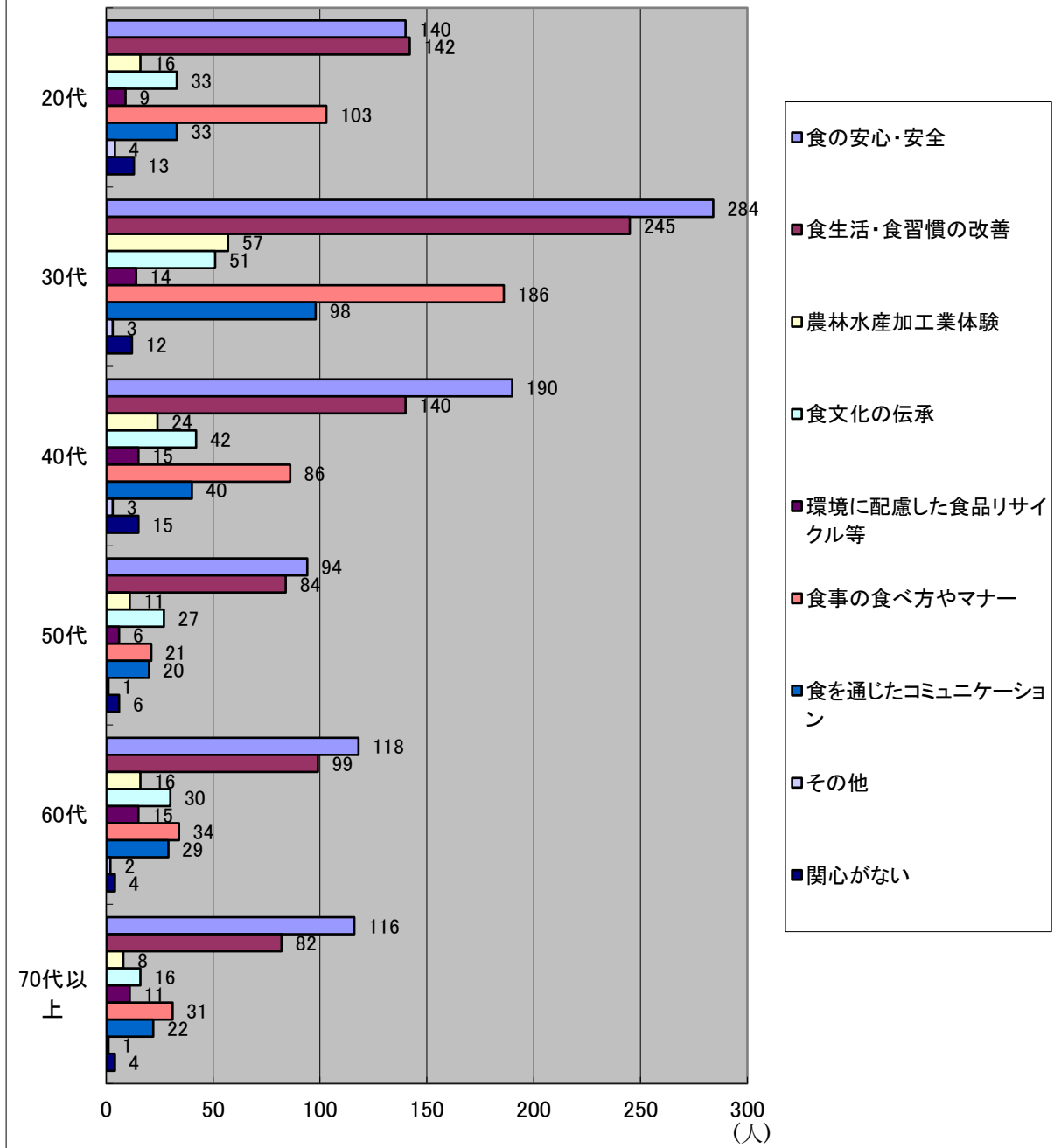


成人では、「関心がある」「聞いたことがあるが、関心がない」と答えた人は、合わせて95.5%となっています。

年齢別に見ても、どの世代も9割以上と認知度は高くなっています。しかし、「聞いたことがあるが、関心がない」と答えた人は、20代53.3%、30代30.2%、40代42.5%、50代40.9%、60代33.3%、70代以上24.5%となっています。



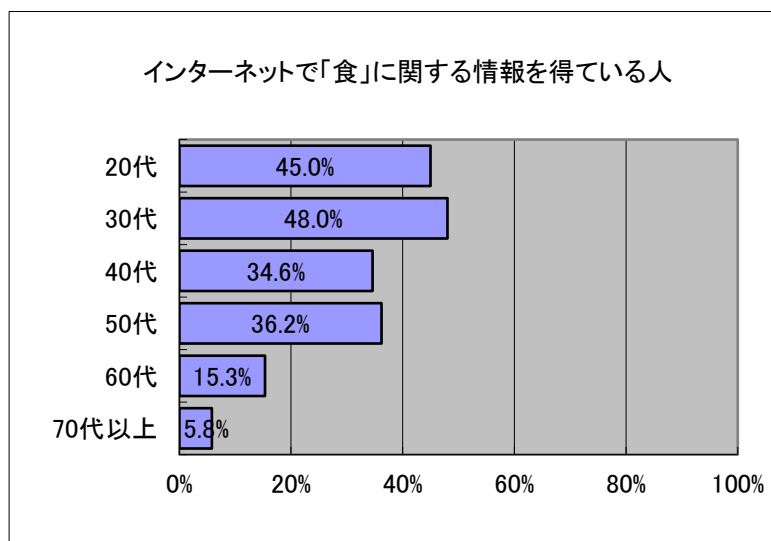
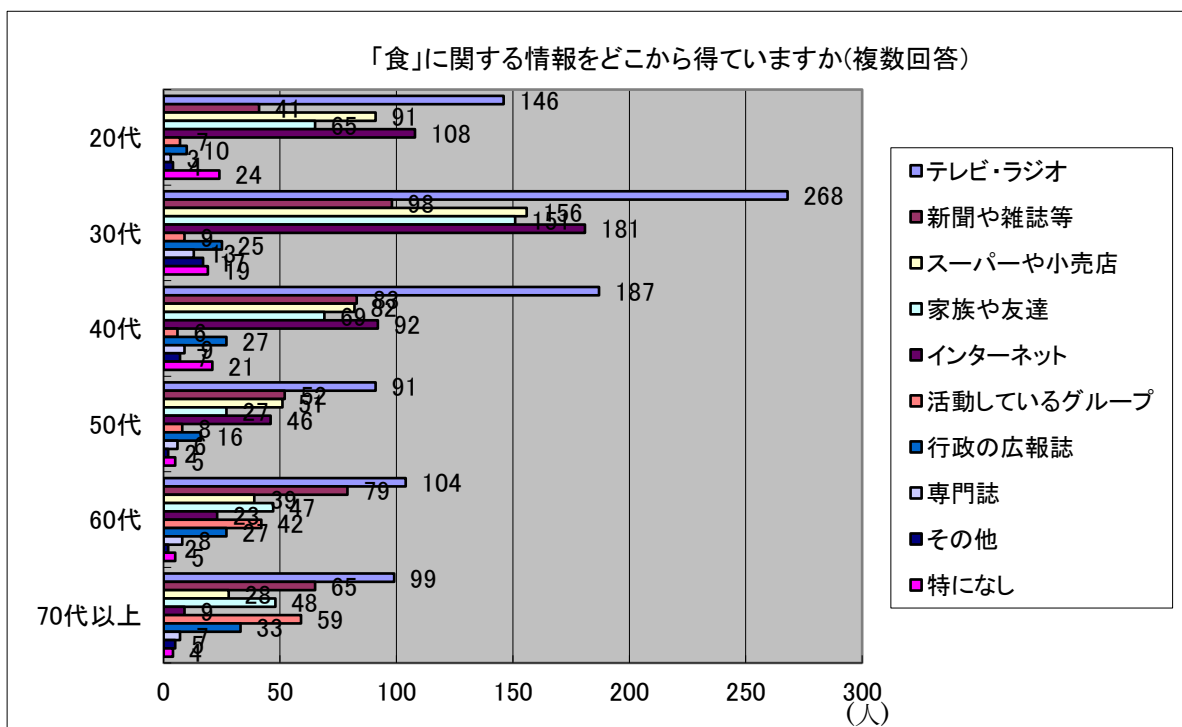
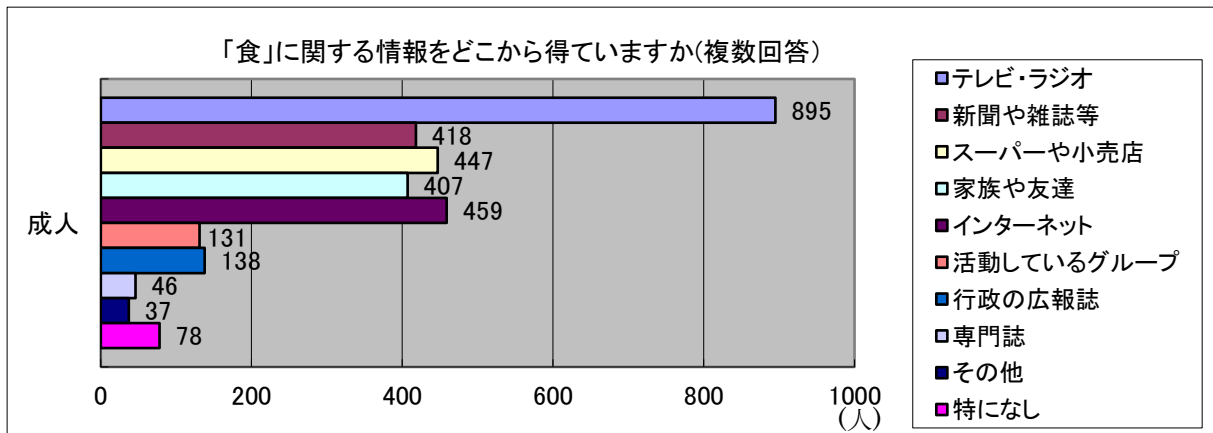
「食」のどの分野に関心がありますか(複数回答)

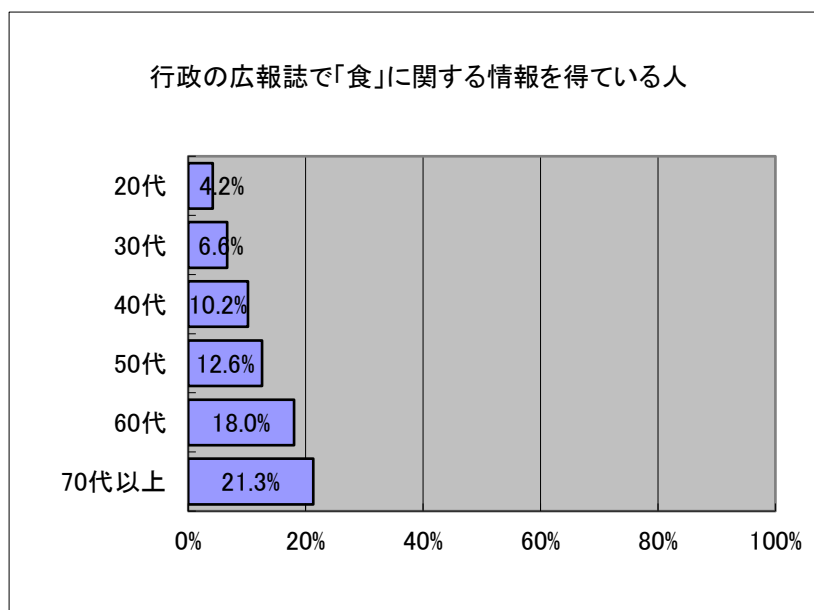


成人では、「食の安心・安全」「食生活・食習慣の改善」に関心がある人が多くなっています。

年齢別に見ると、どの世代も「食の安心・安全」「食生活・食習慣の改善」に関心がある人が多く、子育て世代である20代、30代、40代は「食事の食べ方やマナー」に関心がある人も多くなっています。

●食に関する情報収集について

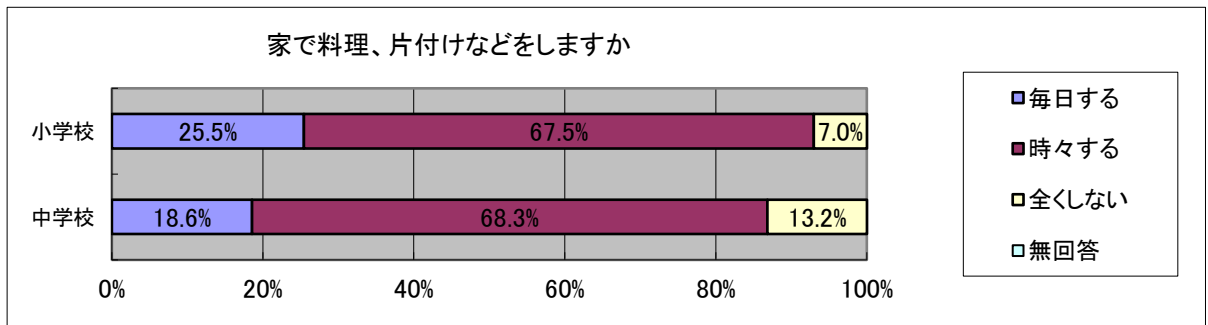
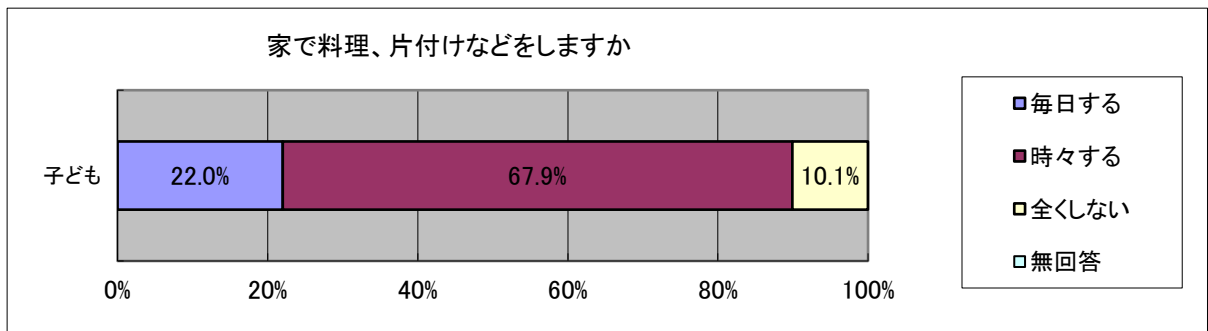




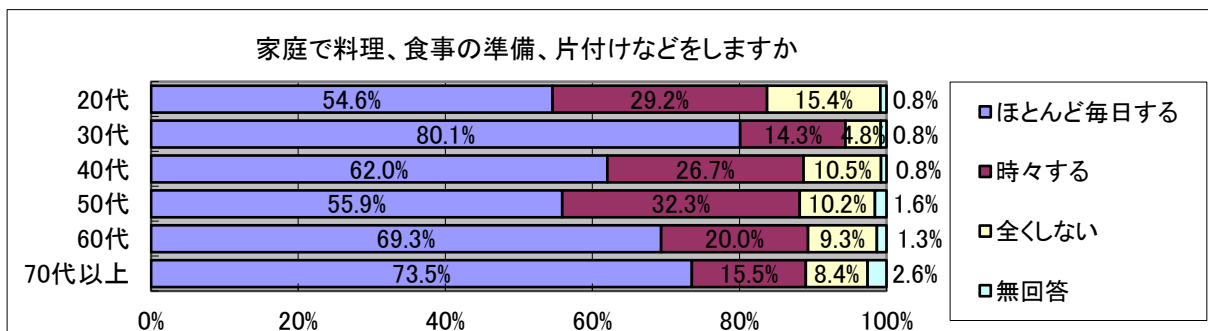
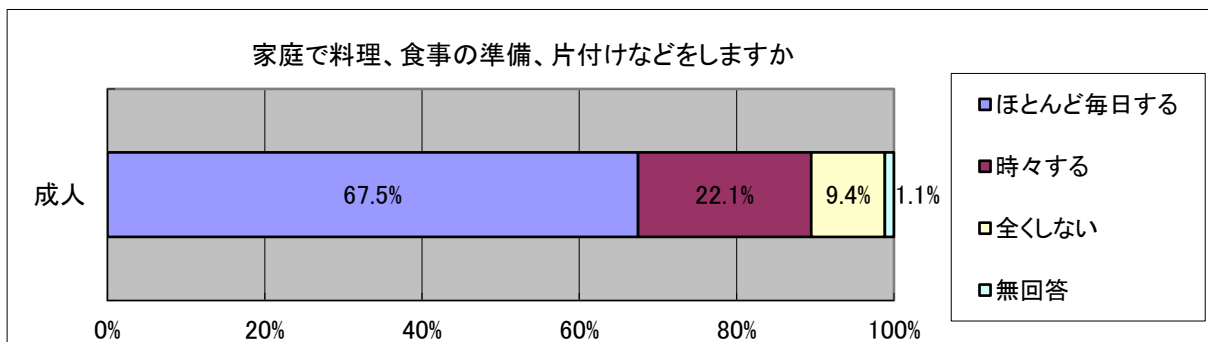
成人では、「テレビ・ラジオ」のマスメディアから情報を得る人が多くなっています。

年齢別で見ると、20代、30代、40代は「テレビ・ラジオ」に次いで「インターネット」から情報を得る人が多くなっています。また、年齢を重ねるにつれ、「行政の広報誌」から情報を得る人が増えています。

●食への関わりについて

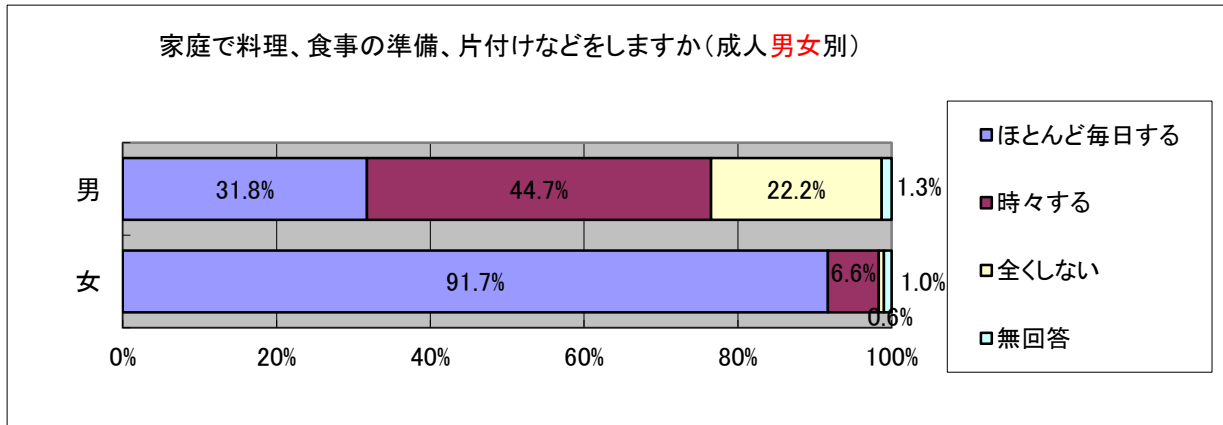


子どもでは、家で料理、片付けなどを「全くしない」と答えた小学生は7.0%となっていますが、中学生では13.2%と、小学生に比べると多くなっています。

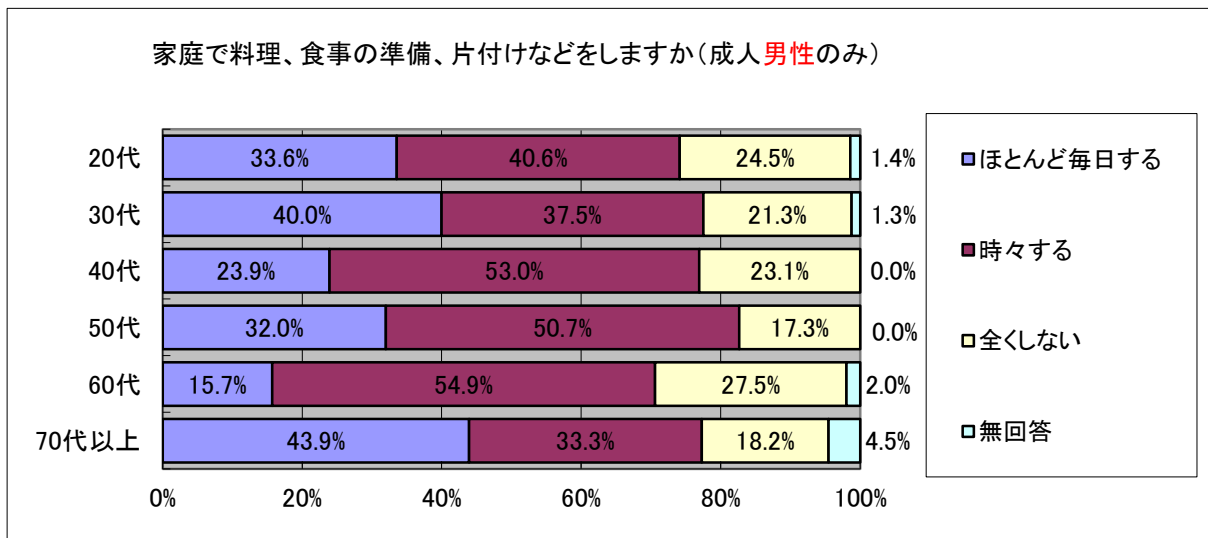


成人では、家庭で料理、食事の準備、片付けなどを「全くしない」と答えた人は、9.4%となっています。

年齢別でみると、「全くしない」と答えた人は、20代15.4%、30代4.8%、40代10.5%、50代10.2%、60代9.3%、70代以上8.4%となっています。

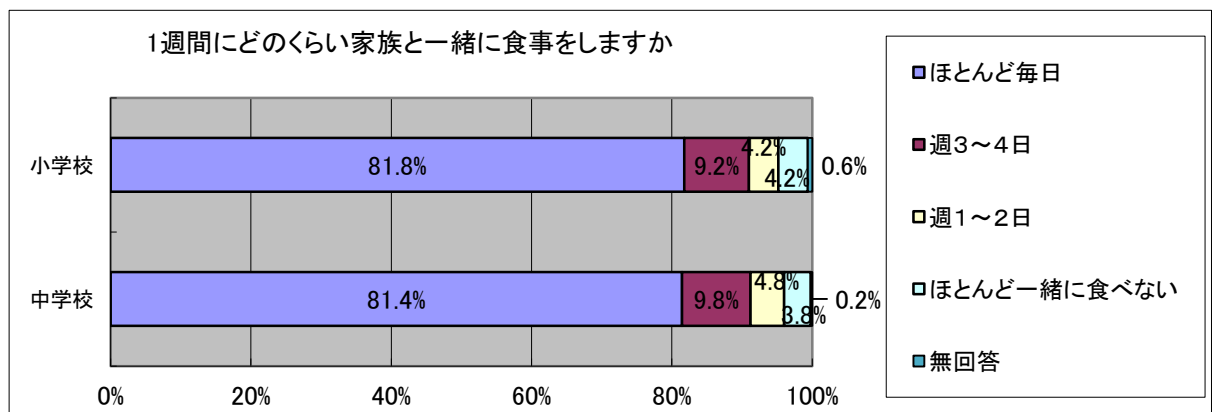
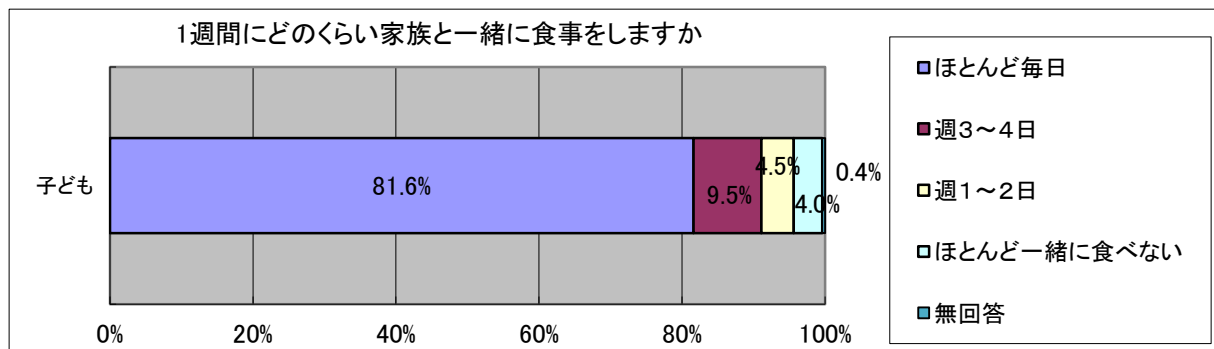


男女別で見ると、「全くしない」と答えた男性は 22.2%、女性は 0.6%となっています。



男性では、「全くしない」と答えた人は、60代が 27.5%と最も高く、20代 24.5%、30代 21.3%、40代 23.1%、50代 17.3%、70代以上 18.2%となっています。

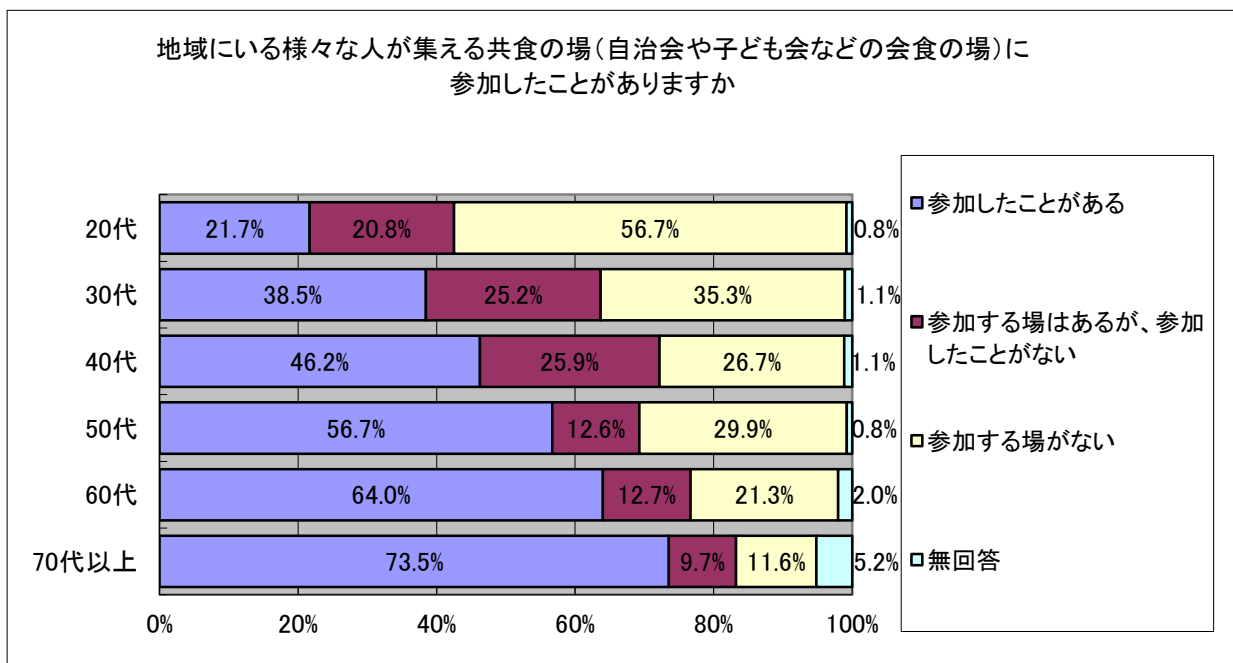
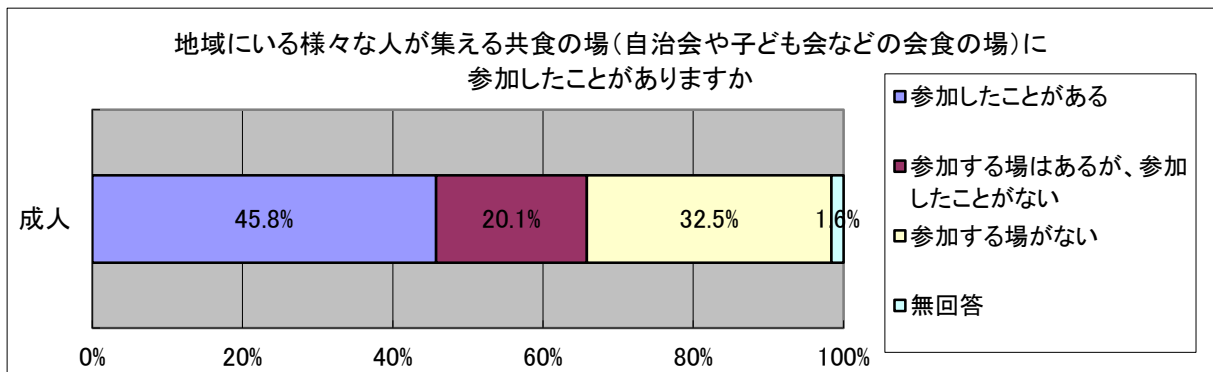
●家族と一緒に食事をする頻度について



子どもでは、1週間に家族と一緒に食事を「ほとんど毎日」すると答えた小学生は81.8%、中学生は81.4%となっています。

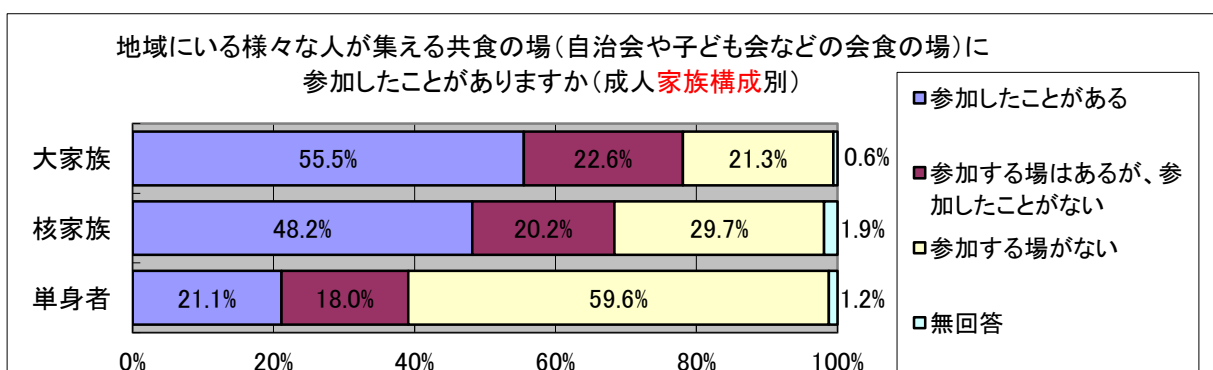
「ほとんど一緒に食べない」と答えた小学生は4.2%、中学生は3.8%となっています。共食の頻度に関して、小学生と中学生に差はみられない結果となっています。

●共食の場について

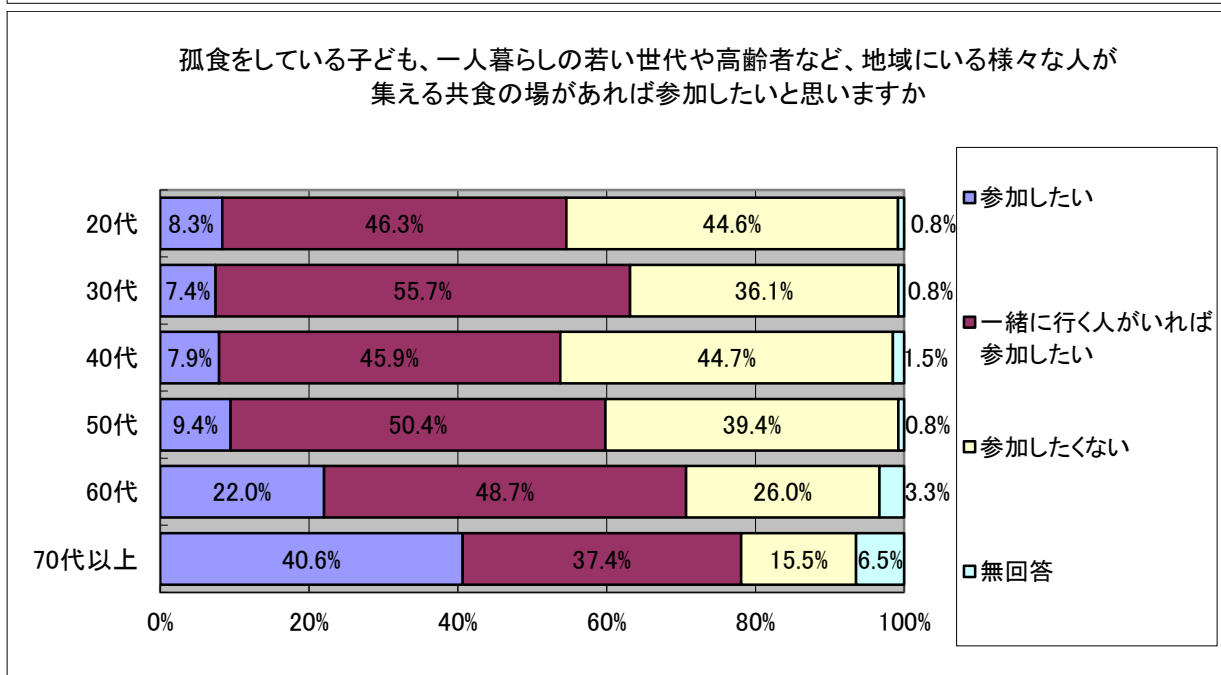
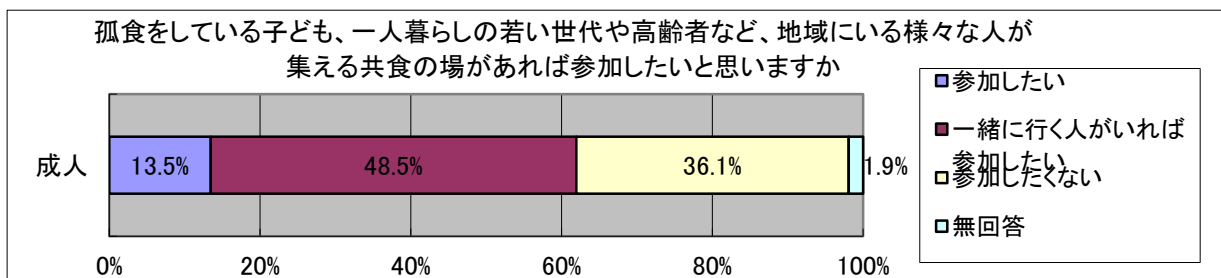


成人では、地域にいる様々な人が集える共食の場に「参加したことがある」と答えた人は45.8%となっています。

年齢別で見ると、「参加したことがある」と答えた人は、年齢を重ねるにつれ、増えています。また、「参加する場はあるが、参加したことがない」と答えた人は20代20.8%、30代25.2%、40代25.9%、50代12.6%、60代12.7%、70代以上9.7%となっています。若い世代ほど、「参加したことがない」と答えた人が多い結果となっています。

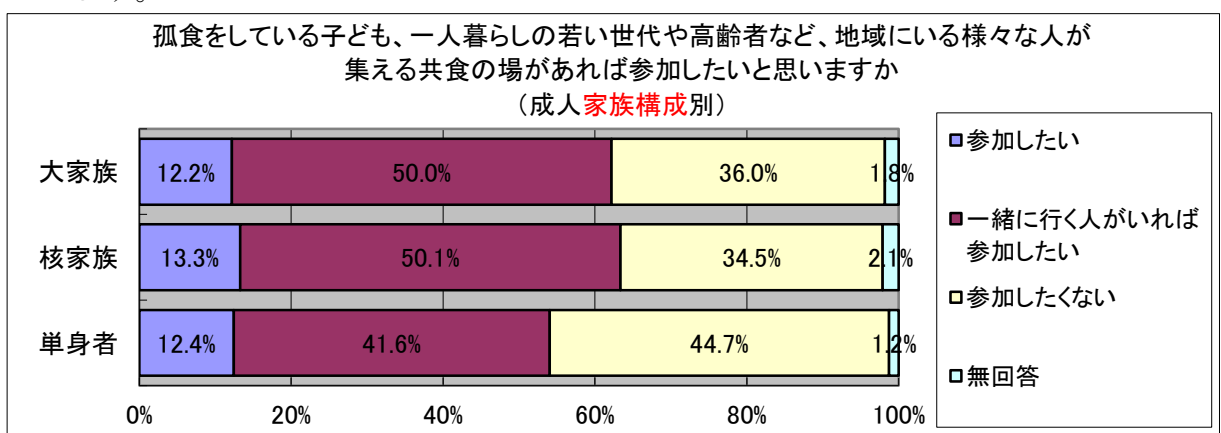


家族構成別に見ると、単身者は他の家族構成に比べて、「参加したことがある」と答えた人は、21.1%と低く、「参加する場がない」と答えた人は、59.6%と多い結果となっています。



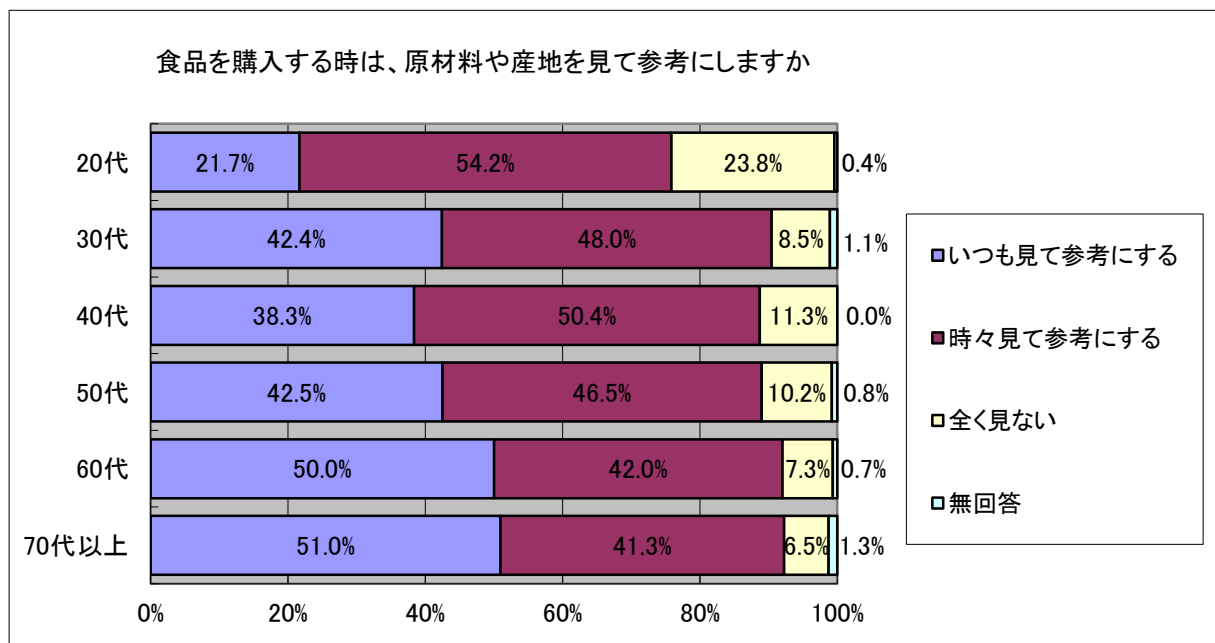
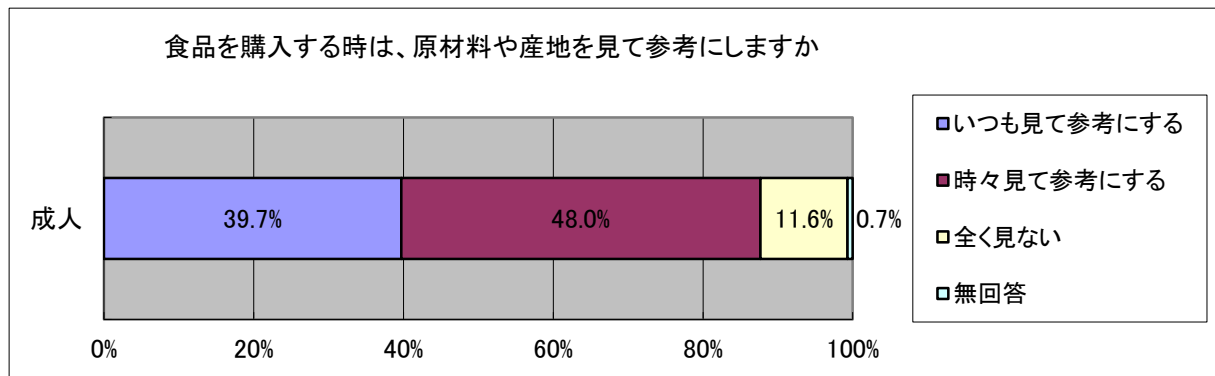
成人では、「一緒に行く人がいれば参加したい」と答えた人は 5 割程度となっています。

年齢別で見ると、「参加したい」と答えた人は、70代以上が 40.6%と最も多くなっています。



家族構成別に見ると、「参加したい」と答えた人に差はみられない結果となっています。

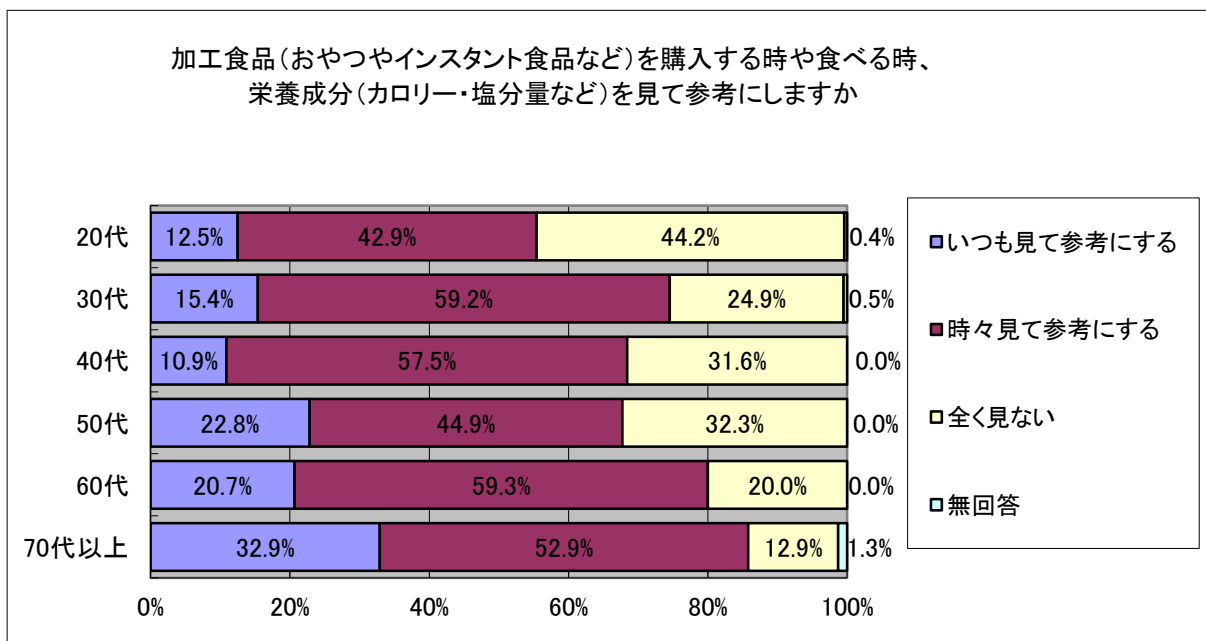
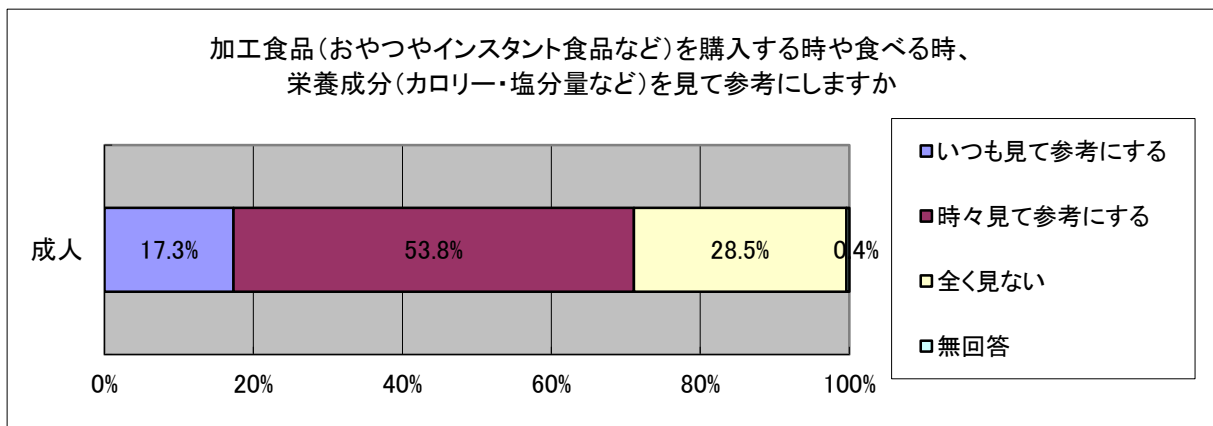
●原材料や産地について



成人では、原材料や産地を見て「参考にする」と答えた人は、合わせて87.7%となっています。

年齢別で見ると、「参考にする」と答えた人は、20代75.9%、30代90.4%、40代88.7%、50代89.0%、60代92.0%、70代以上92.3%となっています。

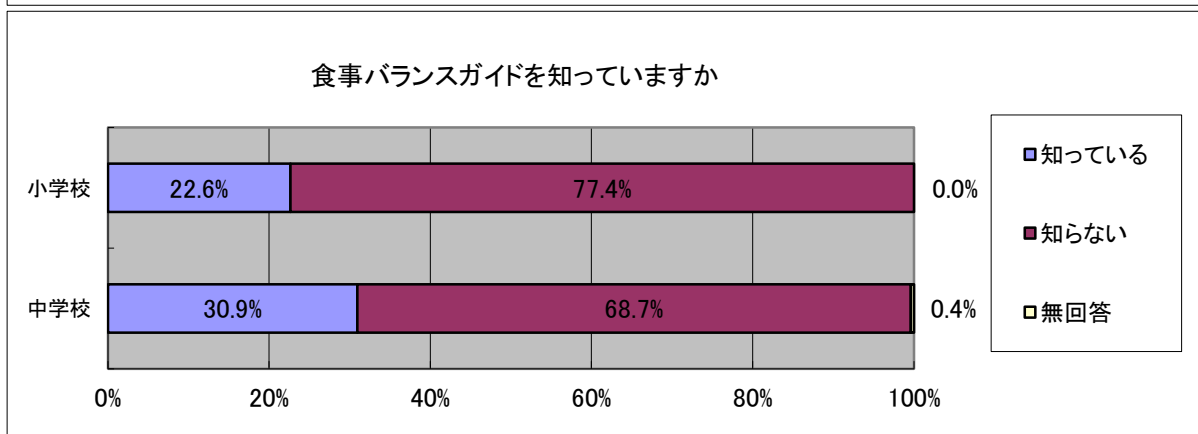
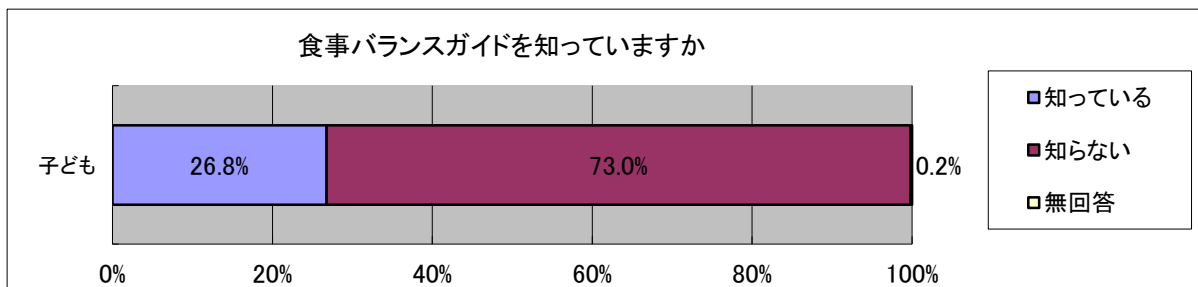
●食品成分表示について



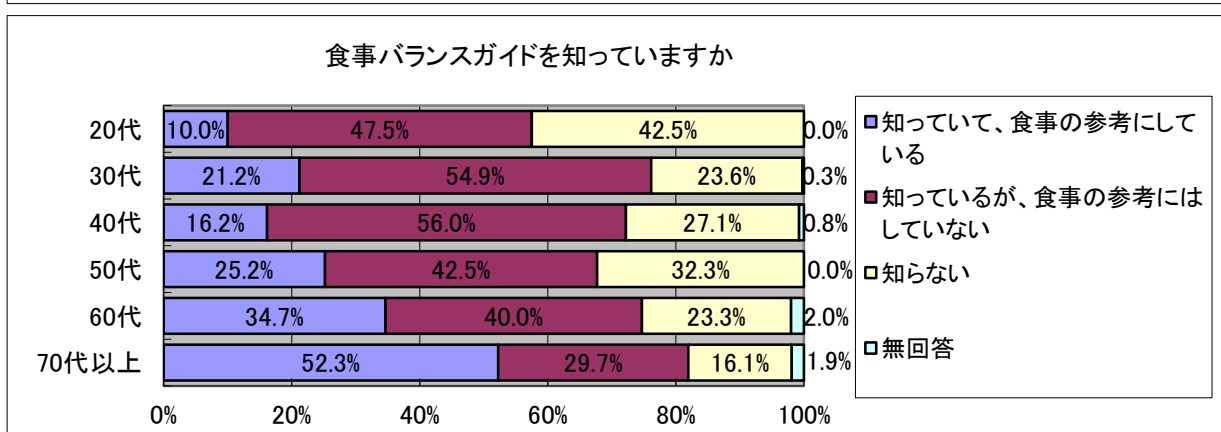
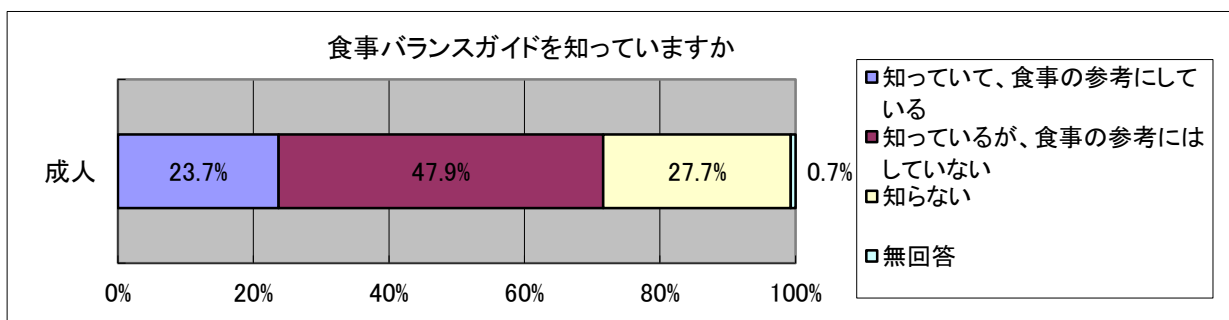
成人では、栄養成分を「見て参考にします」と答えた人は、合わせて71.1%となっています。

年齢別で見ると、「見て参考にします」と答えた人は、20代55.4%、30代74.6%、40代68.4%、50代67.7%、60代80.0%、70代以上85.8%となっています。

●食事バランスガイドの認知度について



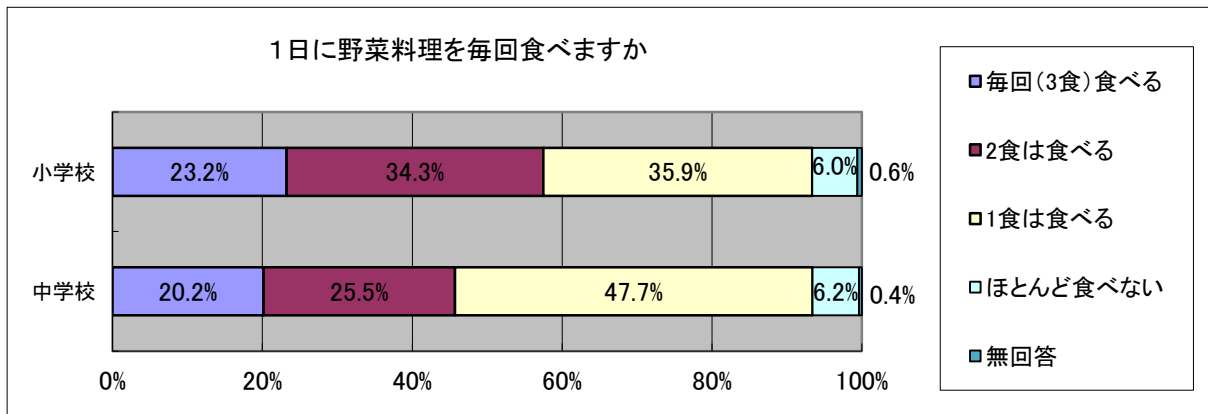
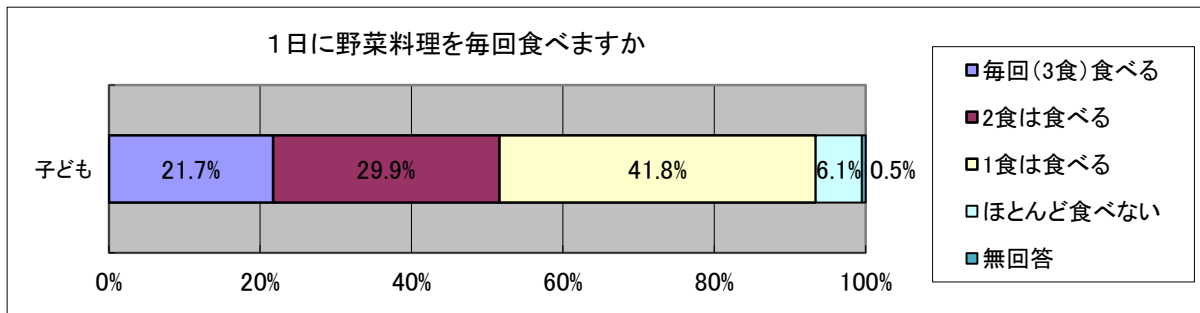
子どもでは、食事バランスガイドを「知っている」と答えた小学生は22.6%となっていますが、中学生では30.9%と、小学生に比べると多くなっています。



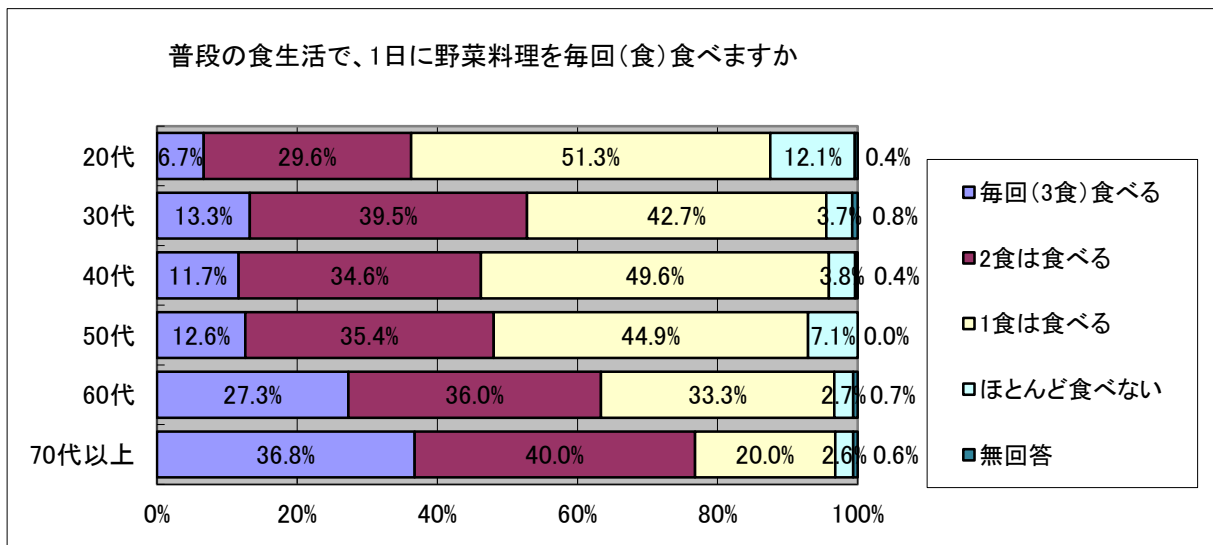
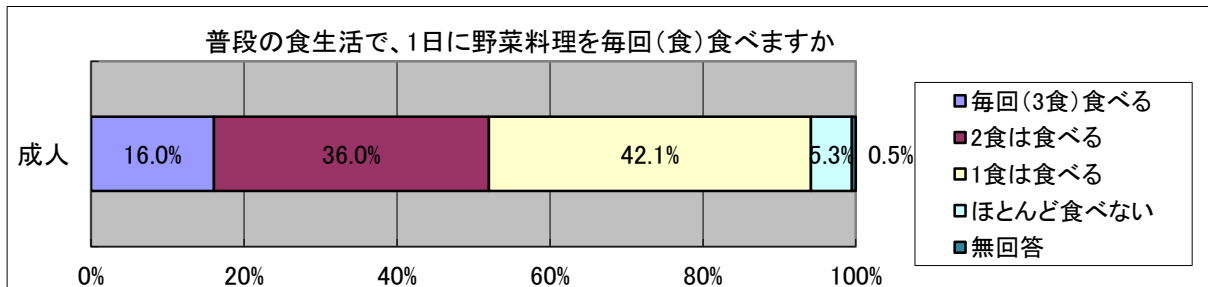
成人では、食事バランスガイドを「知っている」と答えた人は、合わせて7割以上となっています。

年齢別に見ると、「知っている」と答えた人は、20代57.5%、30代76.1%、40代72.2%、50代67.7%、60代74.7%、70代以上82.0%となっています。

●野菜摂取について

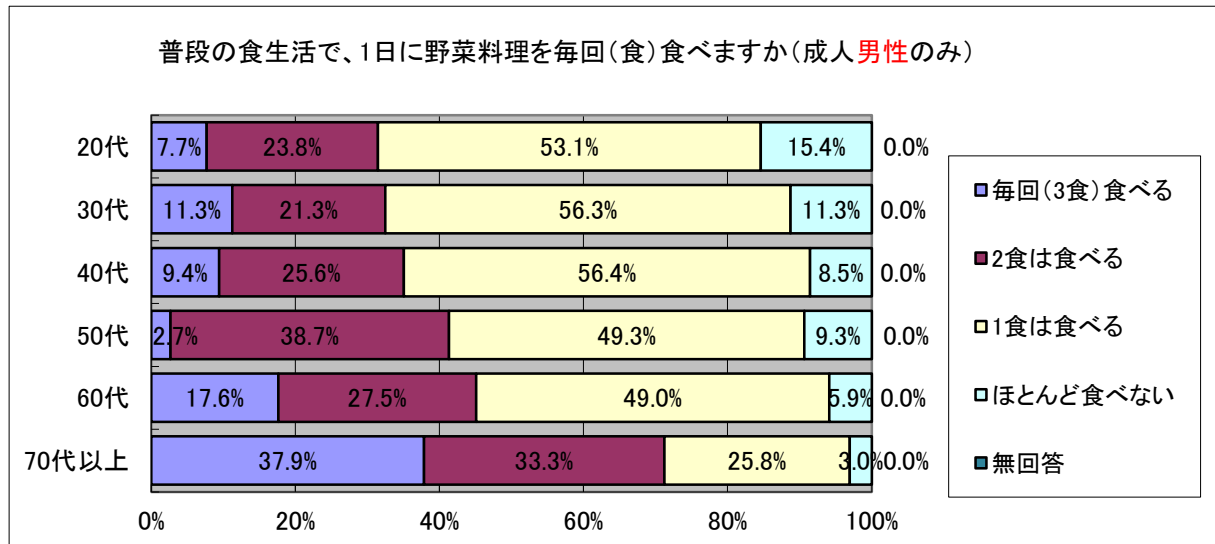


子どもでは、野菜料理を「毎回（3食）食べる」と答えた小学生は23.2%となっていますが、中学生は20.2%と、小学生に比べると少なくなっています。また、「ほとんど食べない」と答えた小学生は6.0%、中学生は6.2%となっています。

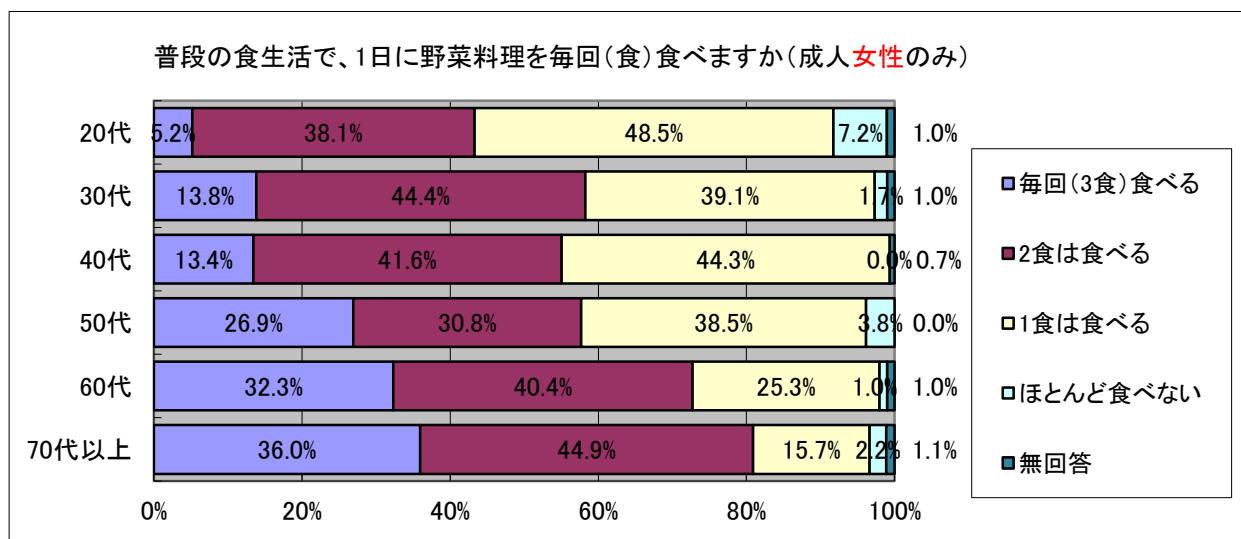


成人では、野菜料理を「毎回（3食）食べる」と答えた人は、16.0%となっています。

年齢別で見ると、「毎回（3食）食べる」と答えた人は、20代6.7%、30代13.3%、40代11.7%、50代12.6%、60代27.3%、70代以上36.8%となっています。また、「ほとんど食べない」と答えた人は、20代が12.1%と最も高くなっています。



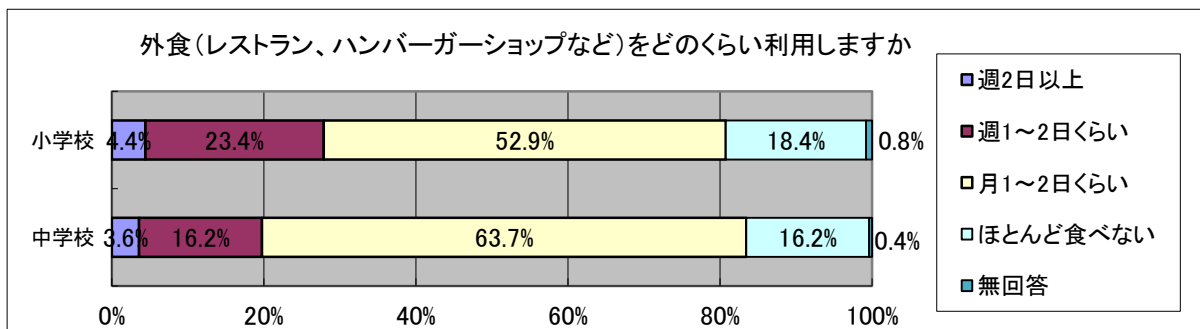
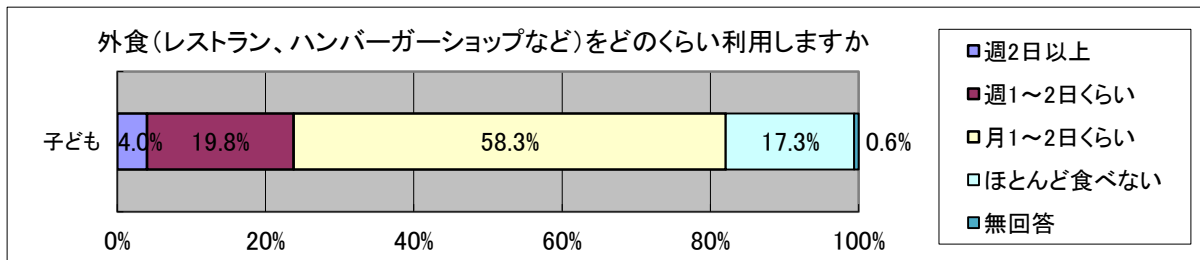
男性では、「毎回（3食）食べる」と答えた人は、20代7.7%、30代11.3%、40代9.4%、50代2.7%、60代17.6%、70代以上37.9%となっています。



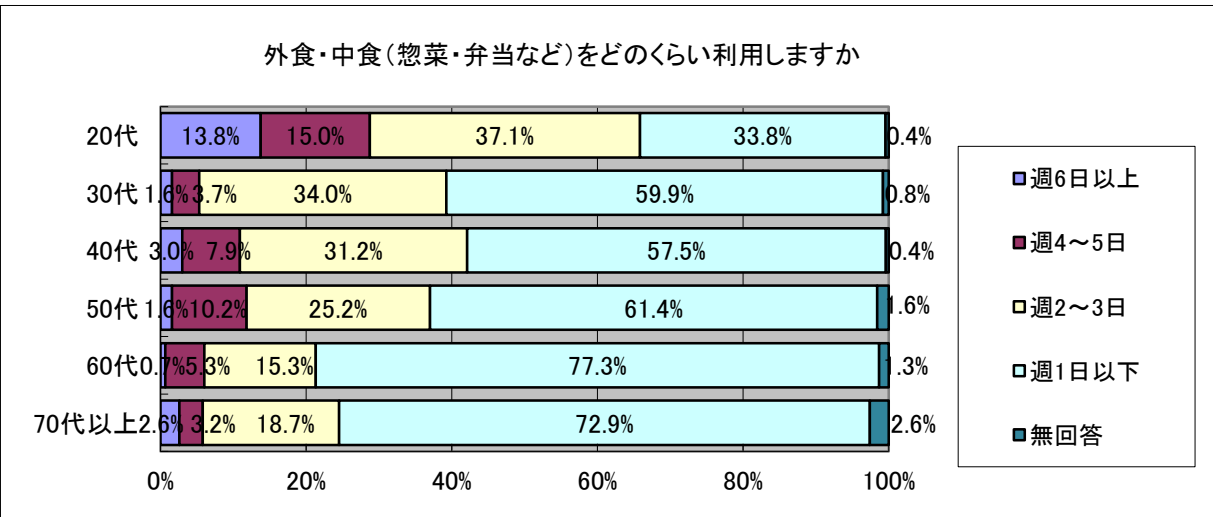
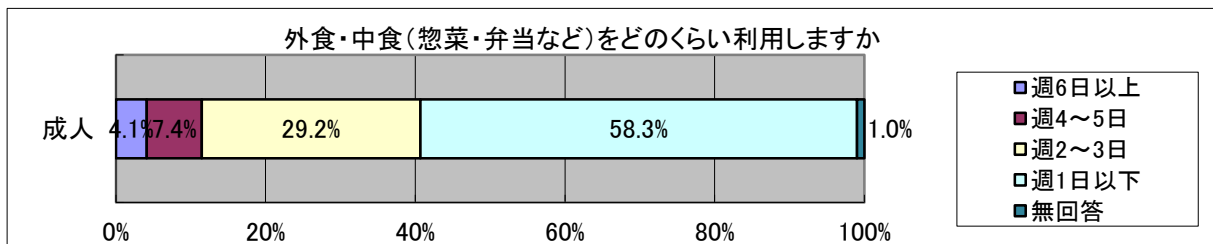
女性では、「毎回（3食）食べる」と答えた人は、20代5.2%、30代13.8%、40代13.4%、50代26.9%、60代32.3%、70代以上36.0%となっています。

男女別で見ると、「毎回（3食）食べる」と答えた人は、男性に比べて女性の方が高い傾向となっています。

● 外食利用頻度について



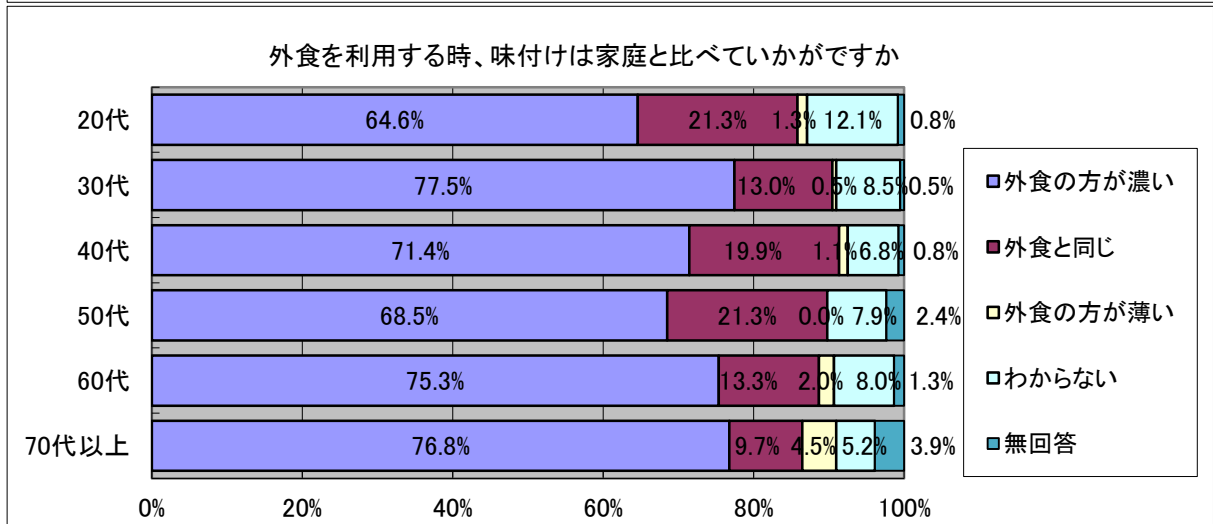
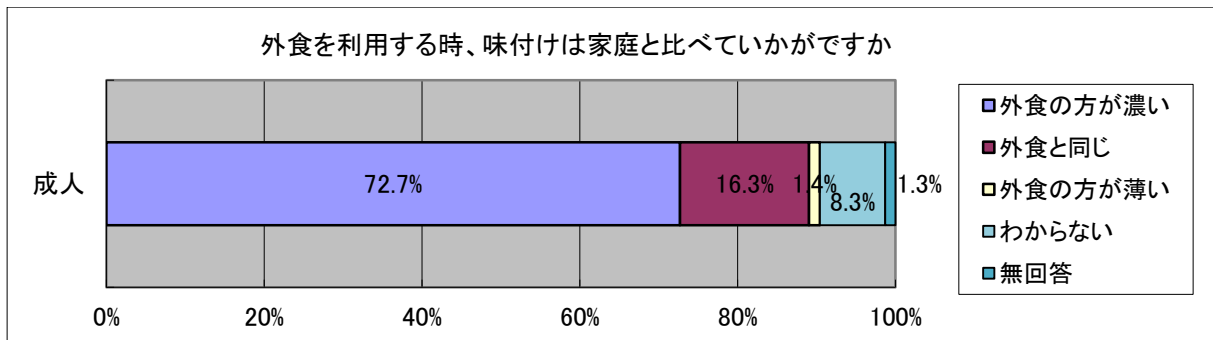
子どもでは、外食を「週 1 日以上利用する」と答えた小学生は 27.8%、中学生は 19.8%となっています。



成人では、外食・中食を「週 2 日以上利用する」と答えた人は、40.7%となっています。

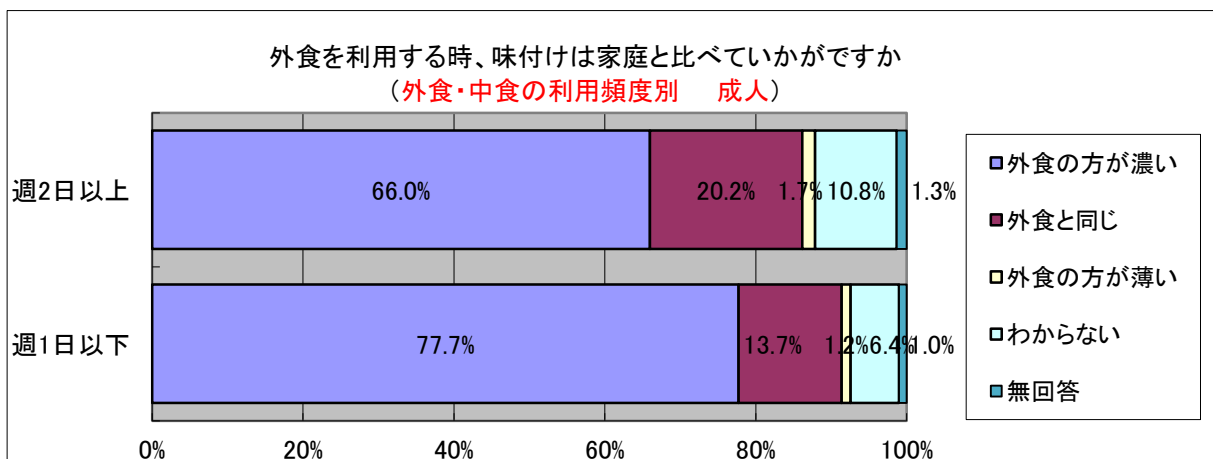
年齢別で見ると、「週 2 日以上利用する」と答えた人は、20代が 65.9%と最も多く、30代 39.3%、40代 42.1%、50代 37.0%、60代 21.3%、70代以上 24.5%となっています。

●外食の味付けとの比較について



成人では、家庭の味付けに比べて「外食の方が濃い」と答えた人は、72.7%となっています。

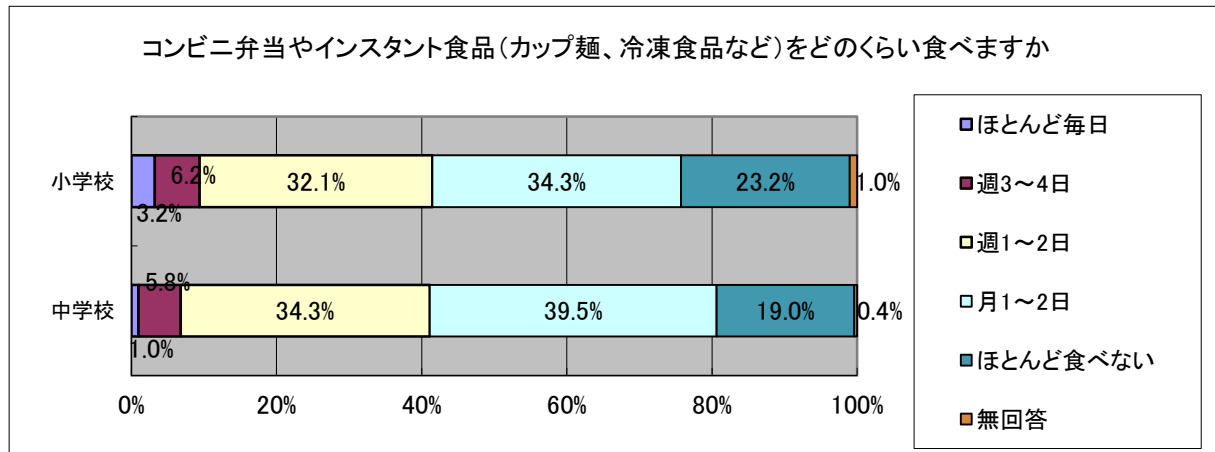
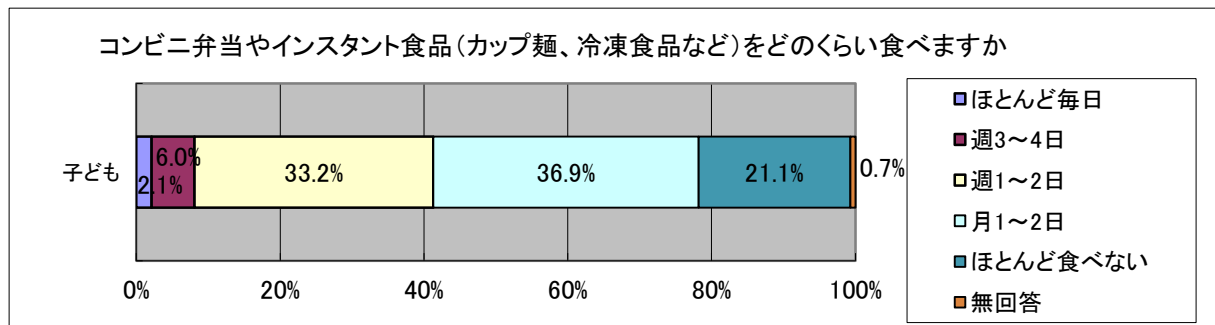
年齢別でみると、「外食の方が濃い」と答えた人は、20代 64.6%、30代 77.5%、40代 71.4%、50代 68.5%、60代 75.3%、70代以上 76.8%となっています。



※「外食・中食の利用頻度」の無回答者を除く

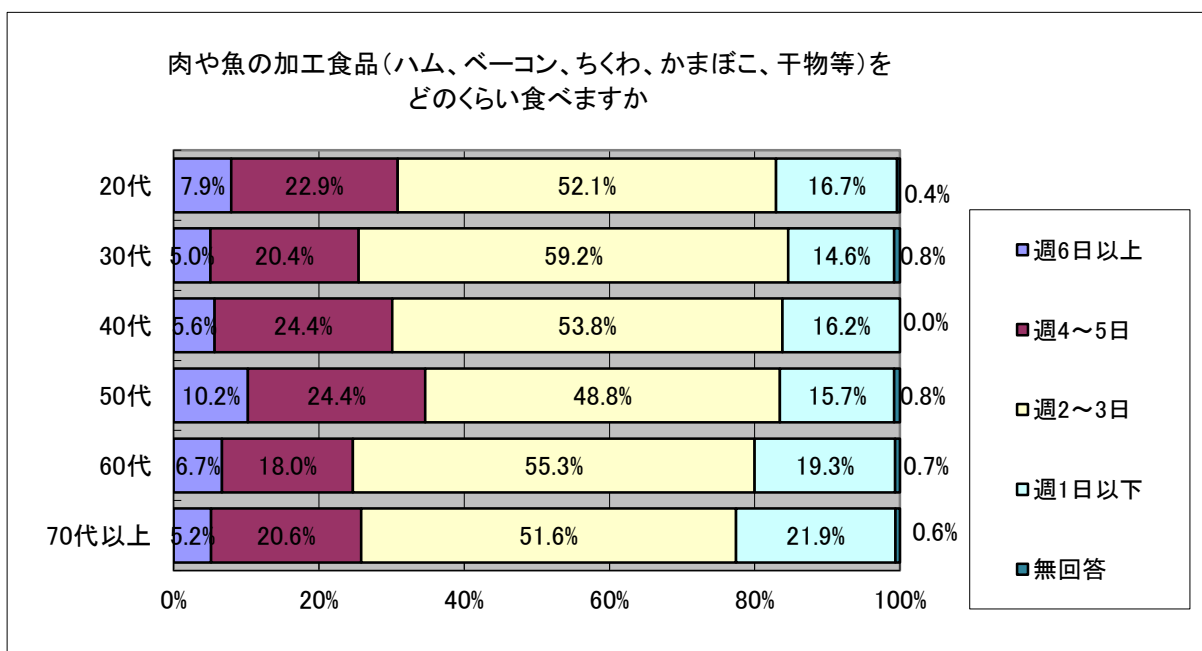
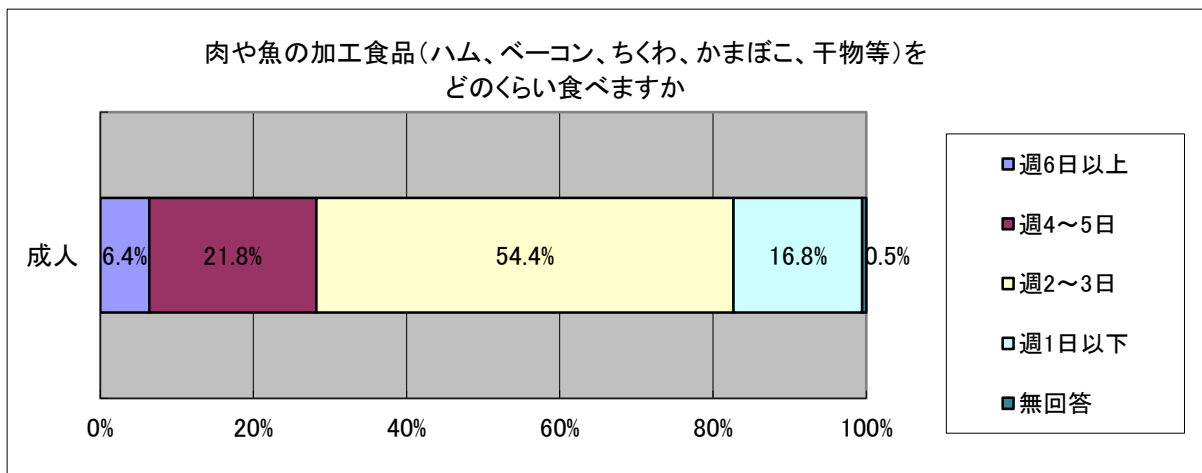
成人では、味付けが「外食の方が濃い」と答えた人は、週2日以上外食・中食を利用する人では66.0%、週1日以下の人では77.7%となっています。外食・中食の利用頻度が少ない人ほど、「外食の方が濃い」と答える人が多い結果となっています。

●インスタント食品等利用頻度について



子どもでは、コンビニ弁当やインスタント食品を「週1日以上食べる」と答えた小学生は41.5%、中学生は41.1%となっています。

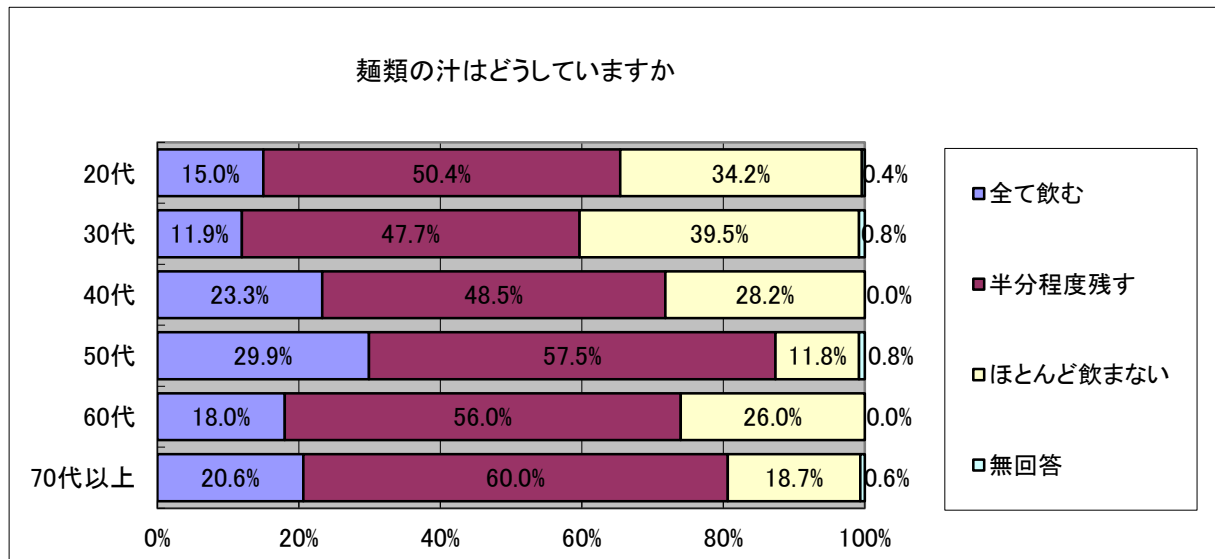
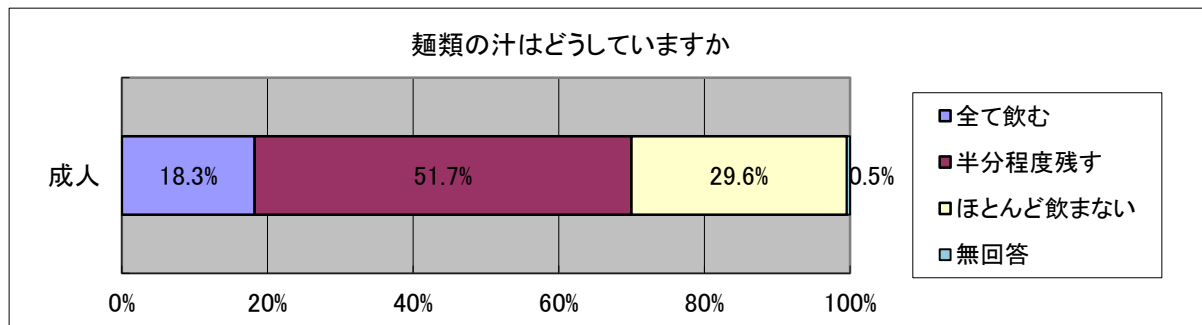
●加工食品の利用について



成人では、肉や魚の加工食品を「週4日以上」食べていると答えた人は、28.2%となっています。

年齢別で見ると、「週4日以上」食べていると答えた人は、20代30.8%、30代25.4%、40代30.0%、50代34.6%、60代24.7%、70代以上25.8%となっています。

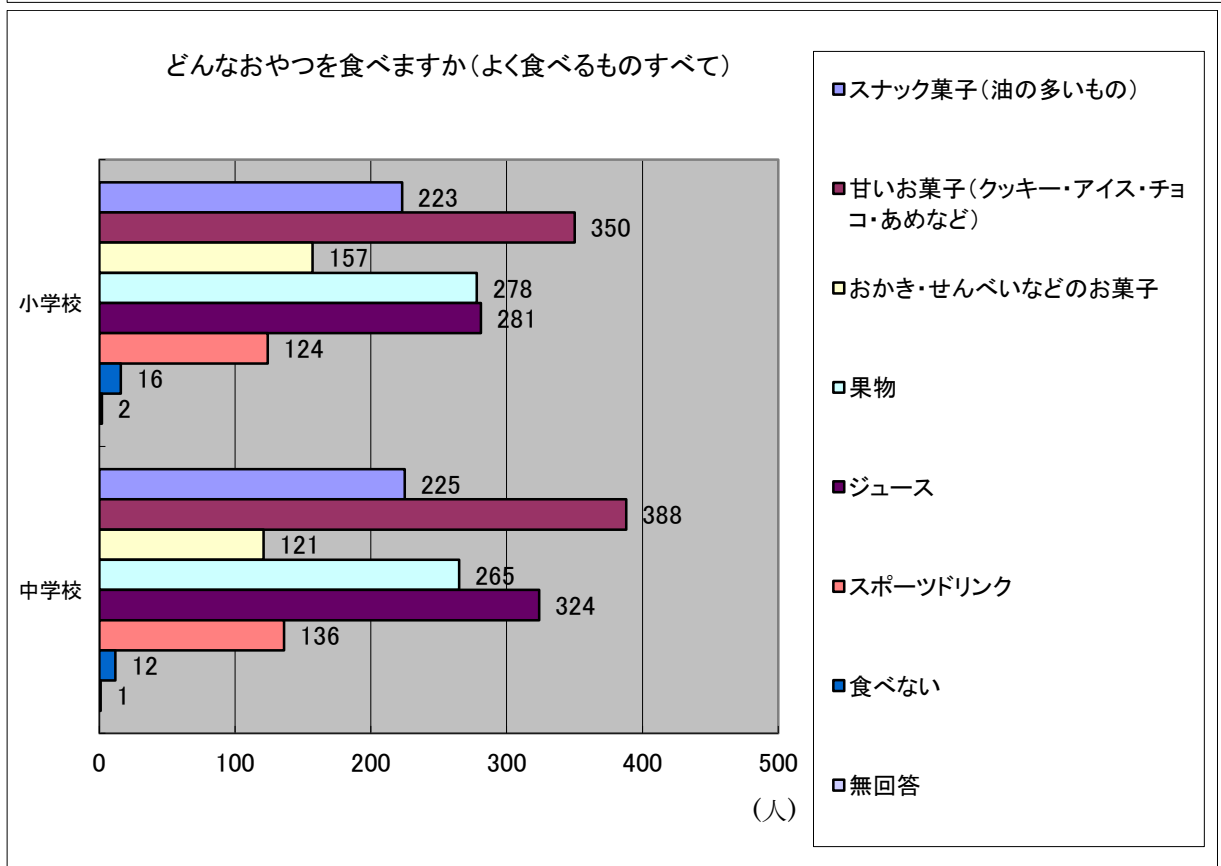
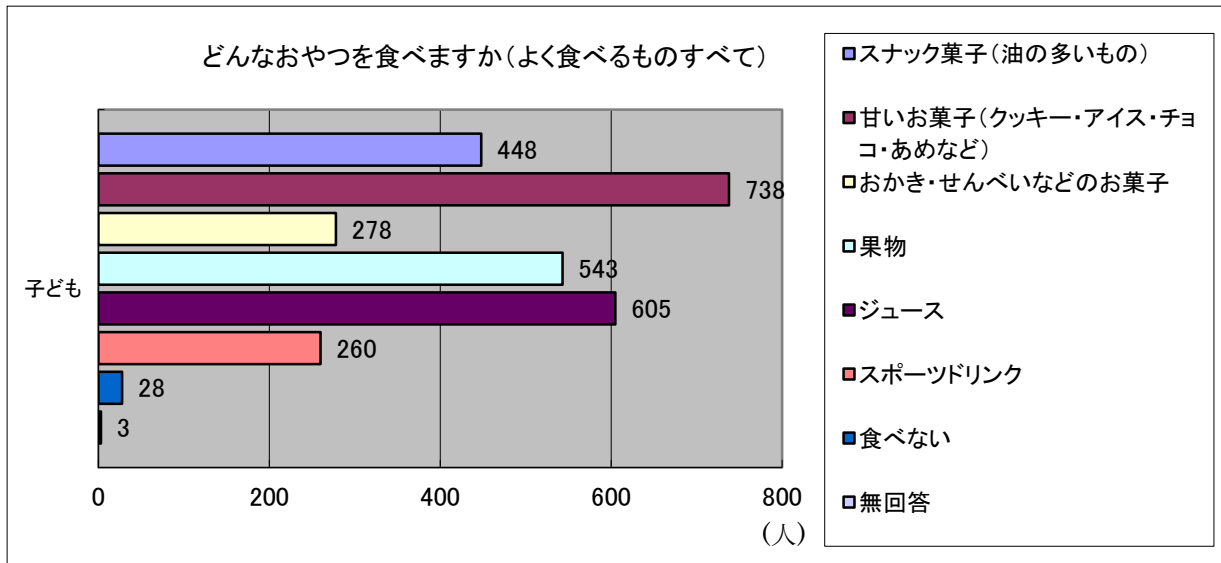
●汁の摂取について



成人では、麺類の汁を「全て飲む」と答えた人は、18.3%となっています。

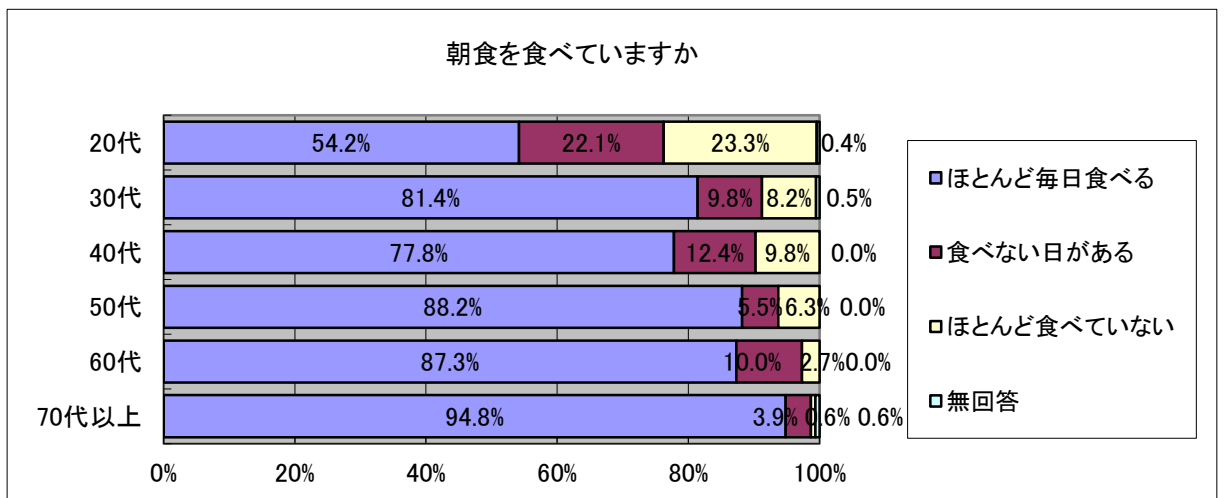
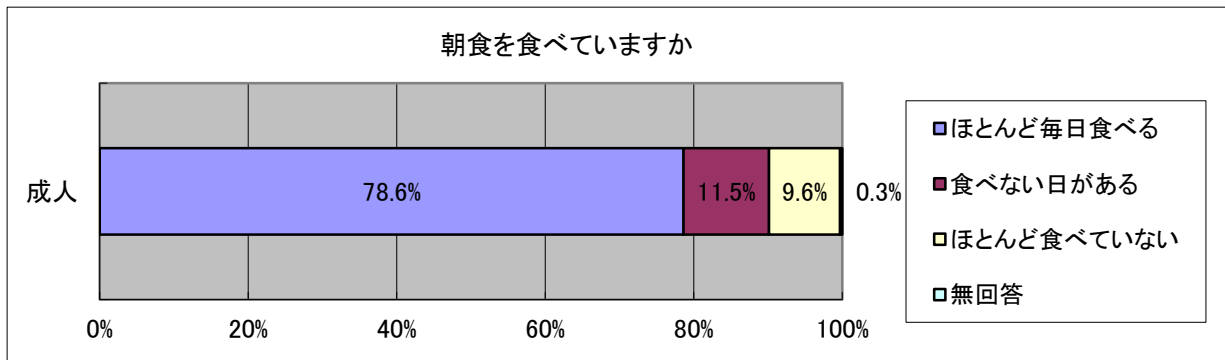
年齢別で見ると、「全て飲む」と答えた人は、20代 15.0%、30代 11.9%、40代 23.3%、50代 29.9%、60代 18.0%、70代以上 20.6%でした。40代、50代、70代が比較的多い結果となっています。

●おやつについて

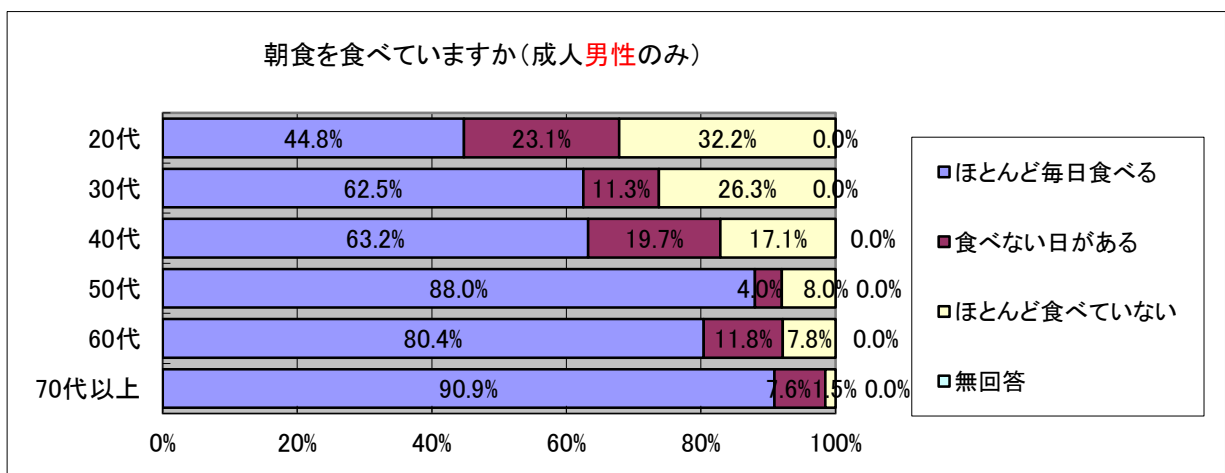


子どもでは、おやつに「甘いお菓子」「ジュース」「果物」を食べると答えた人が多くなっています。

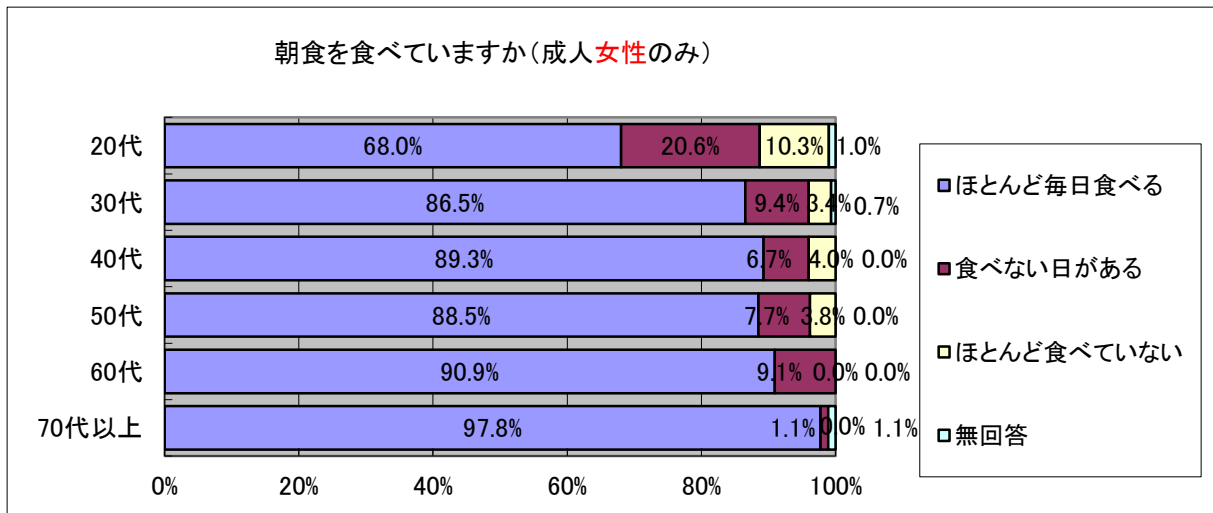
●朝食摂取の状況について



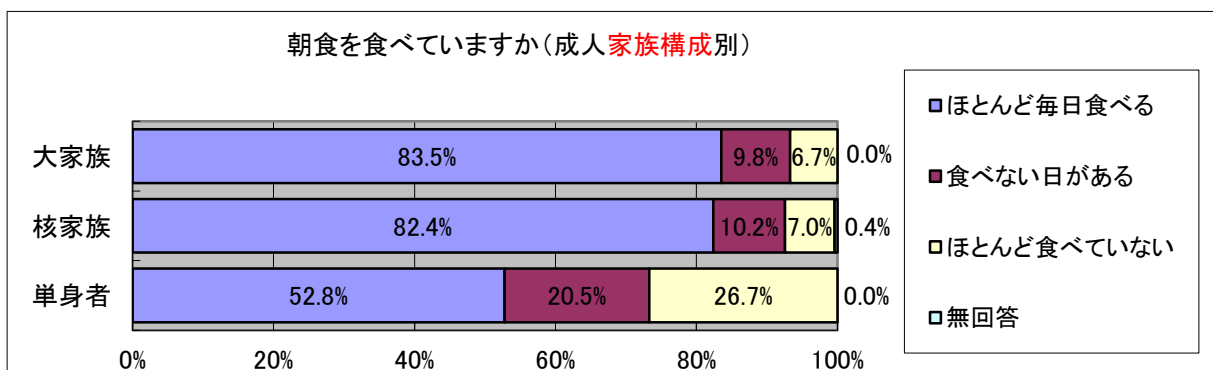
成人では、朝食を「ほとんど毎日食べる」と答えた人は、78.6%となっています。年齢別で見ると、「ほとんど毎日食べる」と答えた人は、20代54.2%、30代81.4%、40代77.8%、50代88.2%、60代87.3%、70代以上94.8%となっています。



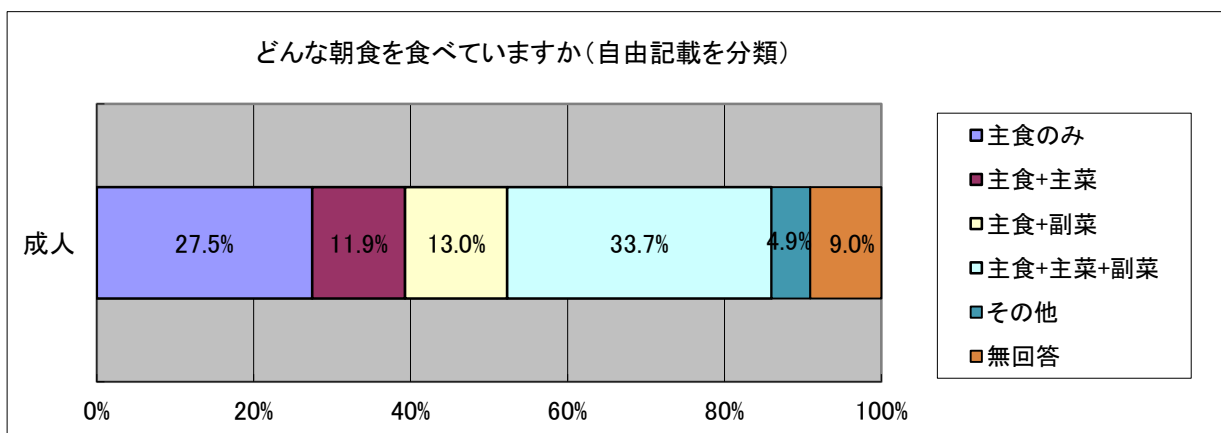
男性では、「ほとんど毎日食べる」と答えた人は、20代44.8%、30代62.5%、40代63.2%、50代88.0%、60代80.4%、70代以上90.9%となっています。



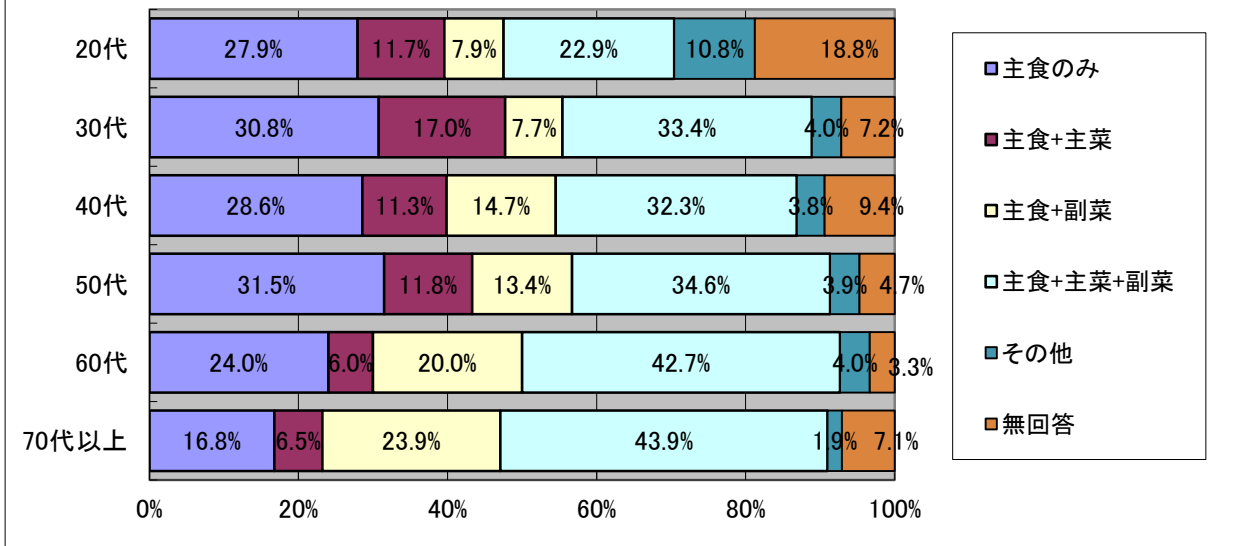
女性では、「ほとんど毎日食べる」と答えた人は、20代 68.0%、30代 86.5%、40代 89.3%、50代 88.5%、60代 90.9%、70代以上 97.8%となっています。男性は、女性に比べて朝食の摂食率が低い結果となっています。



家族構成別に見ると、「ほとんど毎日食べる」と答えた人は、大家族は 83.5%、核家族 82.4%、単身者 52.8%となっています。「ほとんど食べていない」と答えた人は、単身者が 26.7%と最も高くなっています。



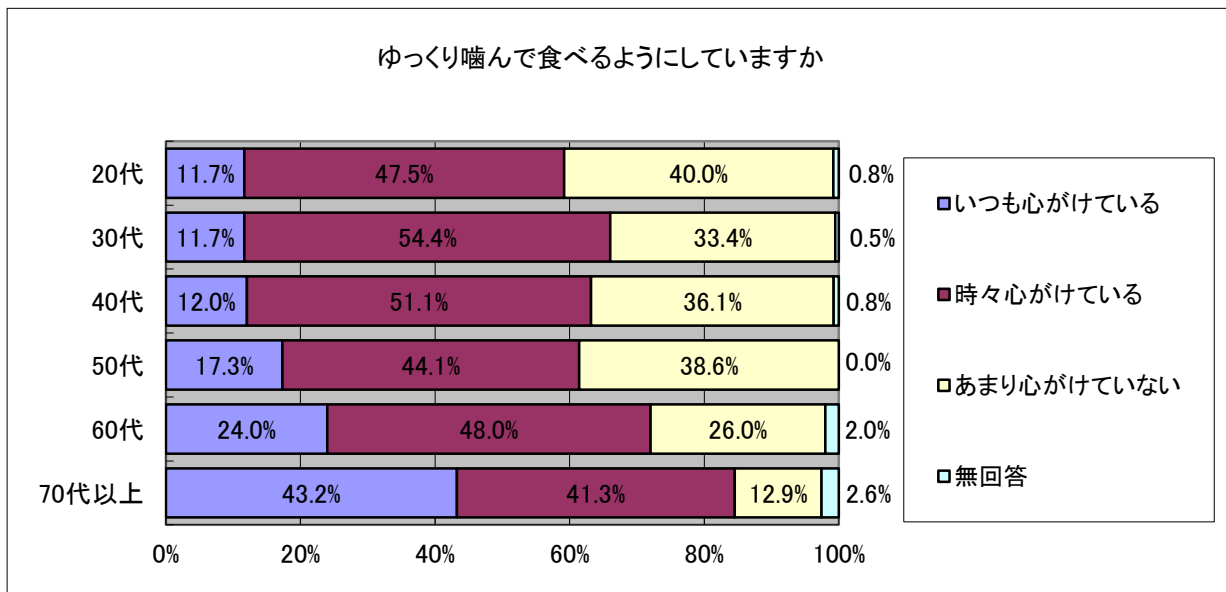
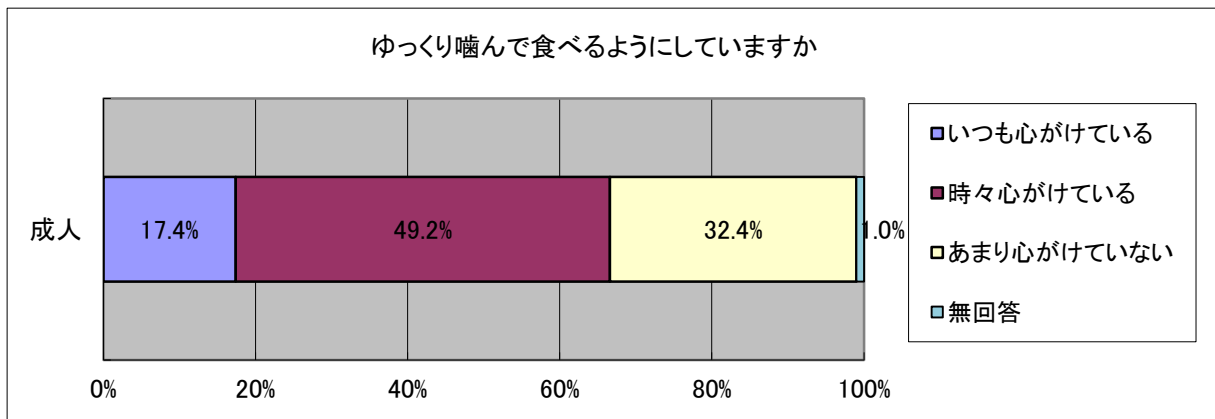
どんな朝食を食べていますか(自由記載を分類)



成人では、「主食+主菜+副菜」がそろった朝食を食べている人は、33.7%となっています。

年齢別で見ると、「主食+主菜+副菜」がそろった朝食を食べている人は、20代 22.9%、30代 33.4%、40代 32.3%、50代 34.6%、60代 42.7%、70代以上 43.9%となっています。

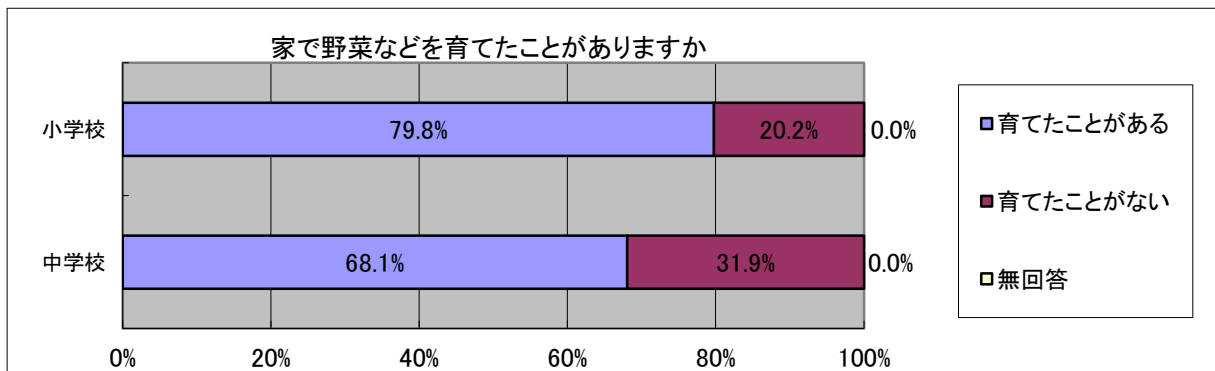
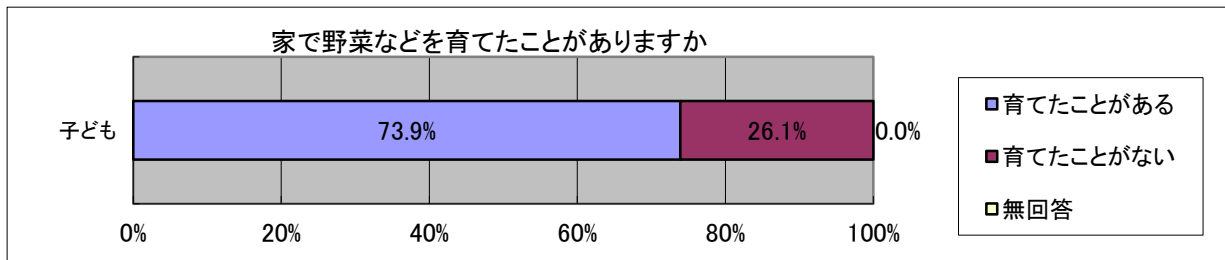
● 噛むことへの意識について



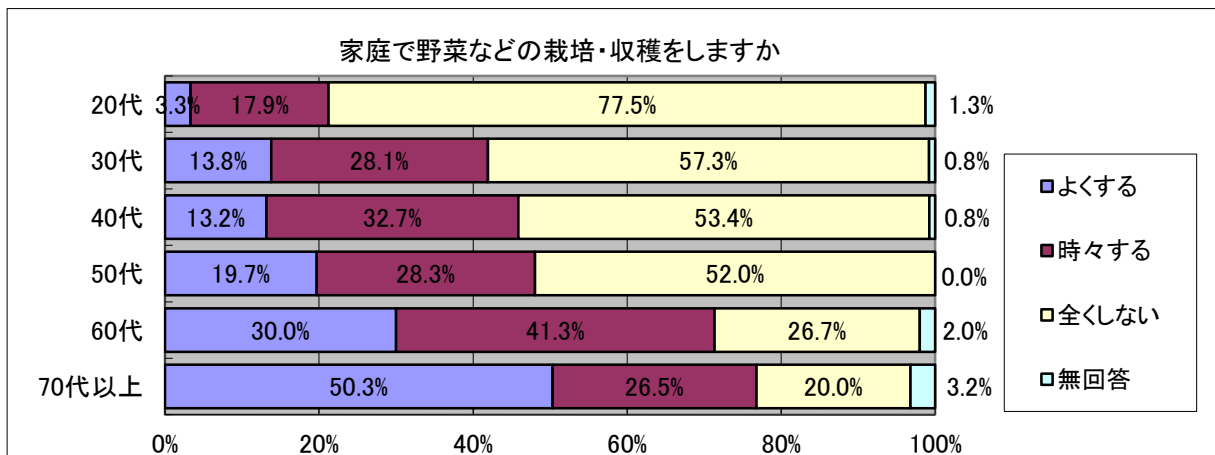
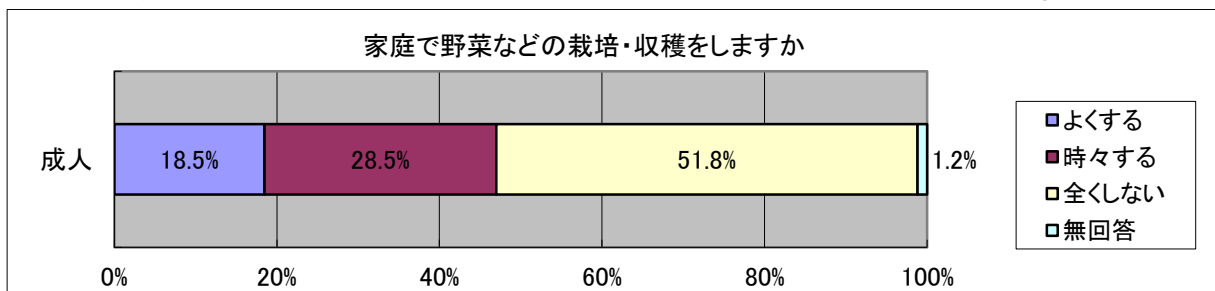
成人では、ゆっくり噛むよう「いつも心がけている」と答えた人は、17.4%となっています。

年齢別で見ると、「いつも心がけている」と答えた人は、20代 11.7%、30代 11.7%、40代 12.0%、50代 17.3%、60代 24.0%、70代以上 43.2%となっています。「あまり心がけていない」と答えた人は、20代が 40.0%と最も高い結果となっています。

●家庭菜園体験について



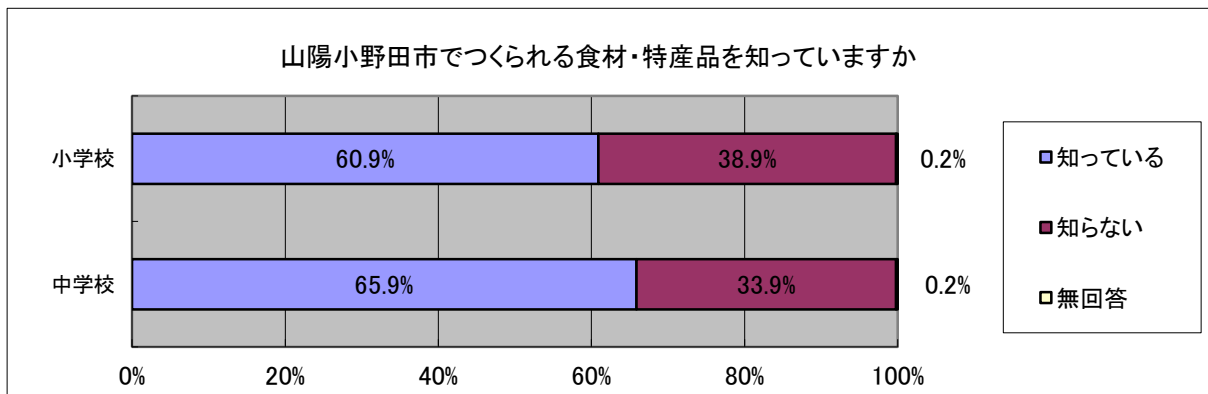
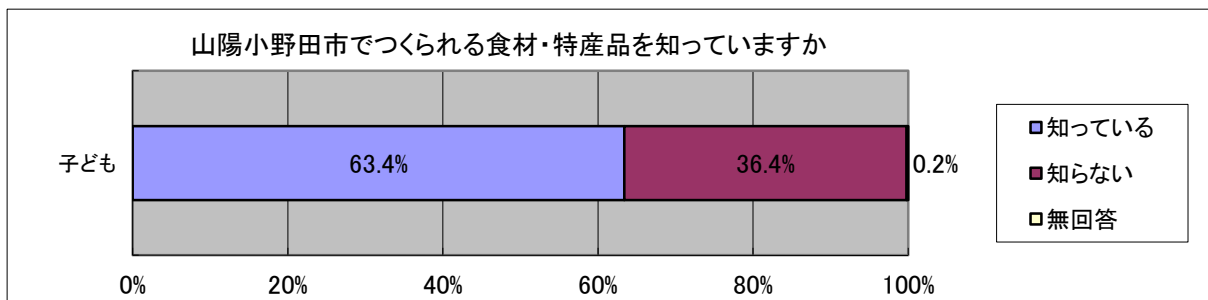
子どもでは、家で野菜などを「育てたことがある」と答えた小学生は79.8%なっていますが、中学生では68.1%と、小学生に比べると少なくなっています。



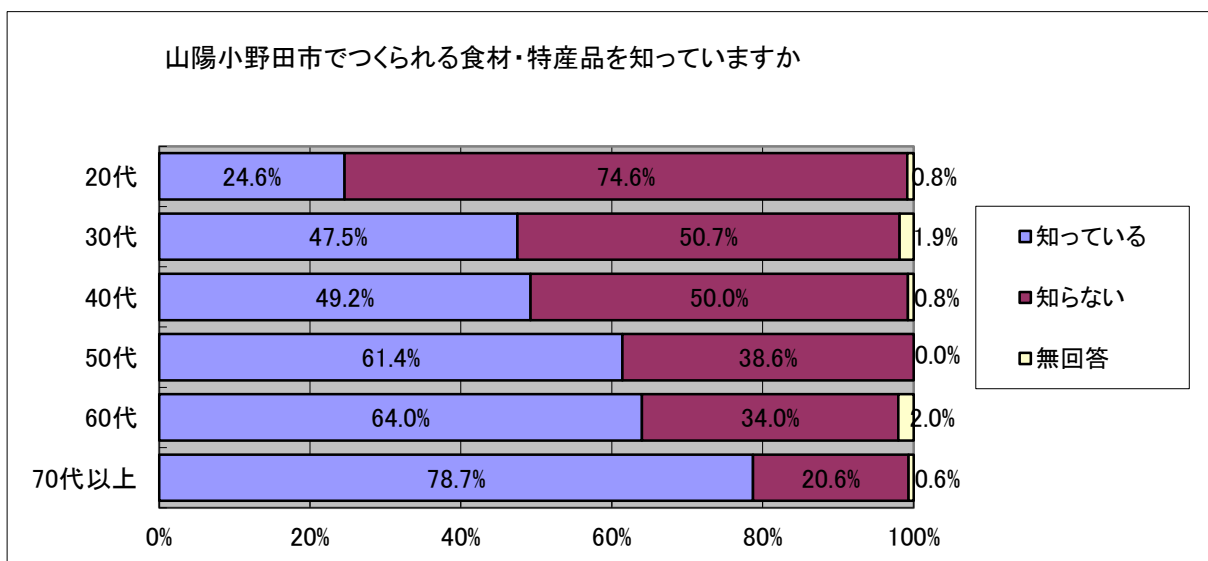
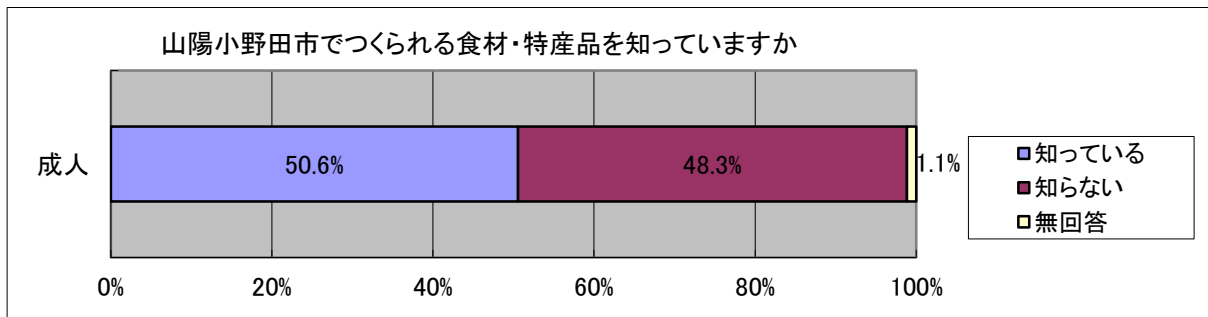
成人では、家庭で野菜などの栽培・収穫を「する」と答えた人は、合わせて47.0%となっています。

年齢別で見ると、「する」と答えた人は、20代21.2%、30代41.9%、40代45.9%、50代48.0%、60代71.3%、70代以上76.8%でした。年齢を重ねるにつれ、増えています。

● 地元で伝わる食材・特産品の認知度について

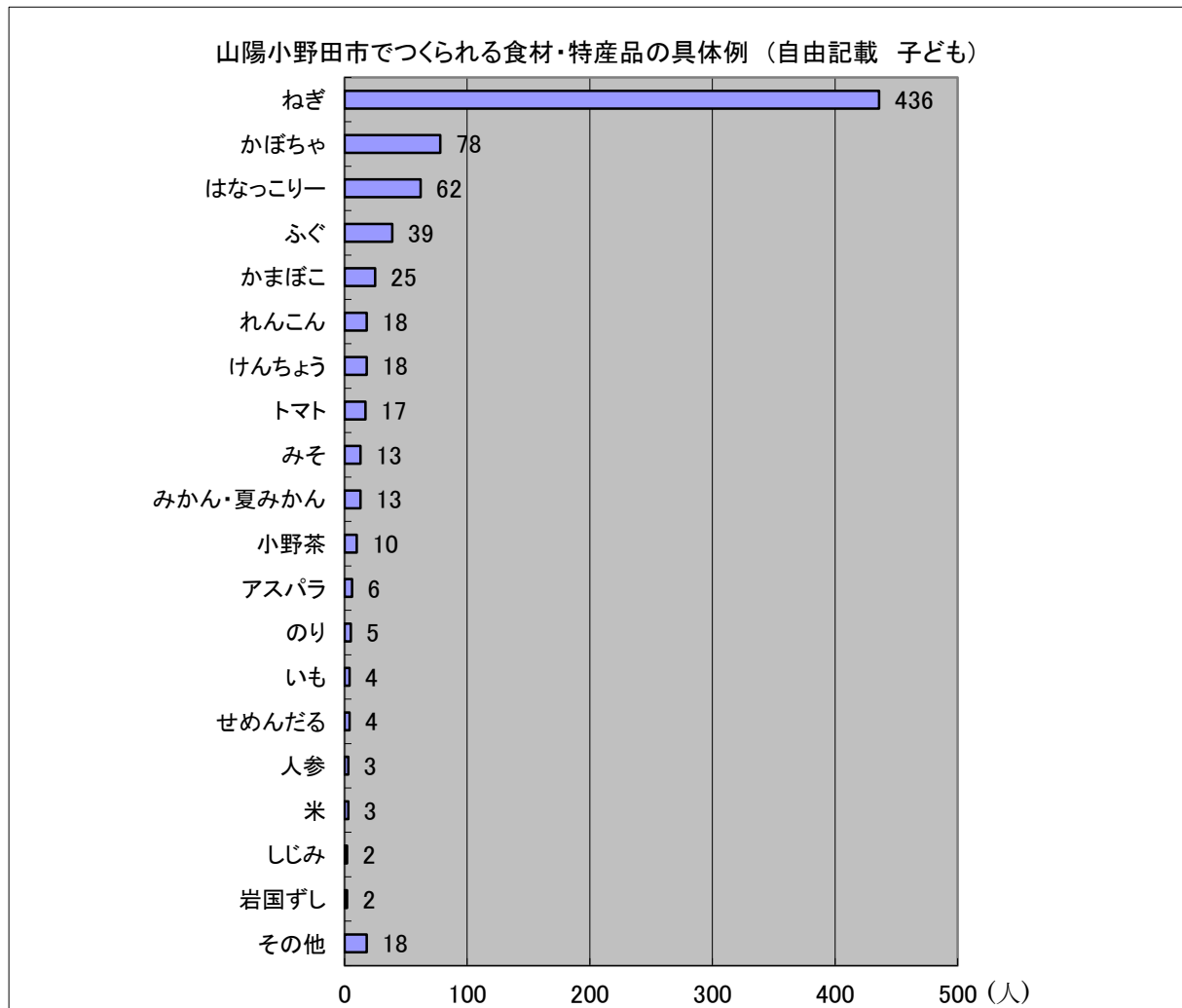


子どもでは、市でつくられる食材・特産品を「知っている」と答えた小学生は60.9%となっていますが、中学生では65.9%と、小学生に比べると多くなっています。



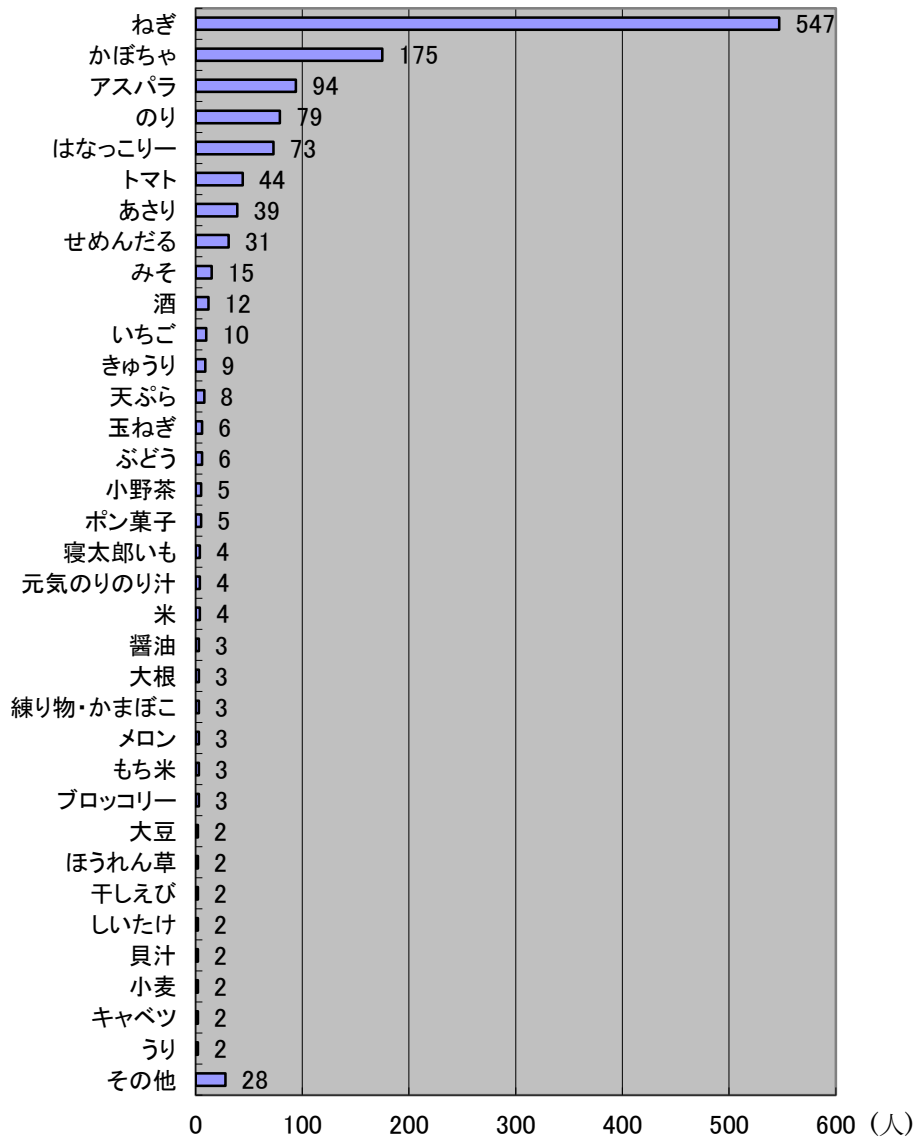
成人では、市でつくられる食材・特産品を「知っている」と答えた人は、50.6%となっています。

年齢別で見ると、「知っている」と答えた人は、20代が24.6%と最も低く、30代47.5%、40代49.2%、50代61.4%、60代64.0%、70代以上78.7%となっています。年齢を重ねるにつれ、増えています。



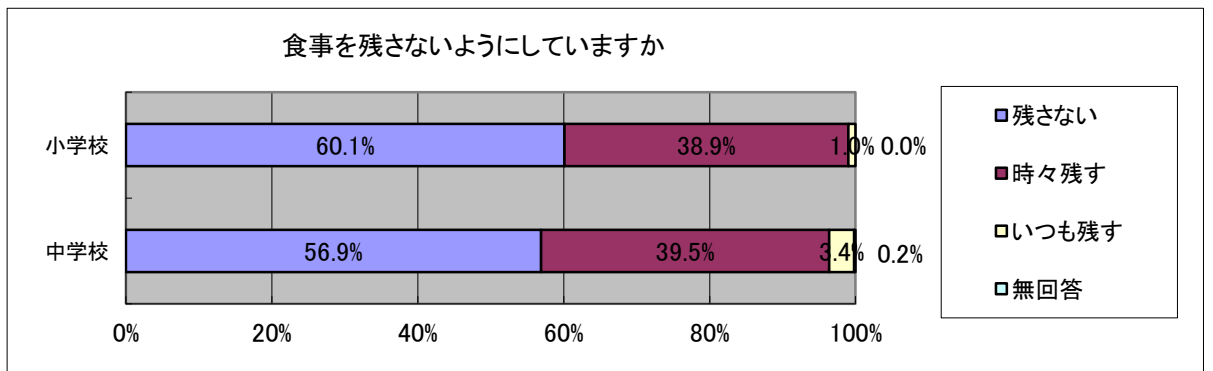
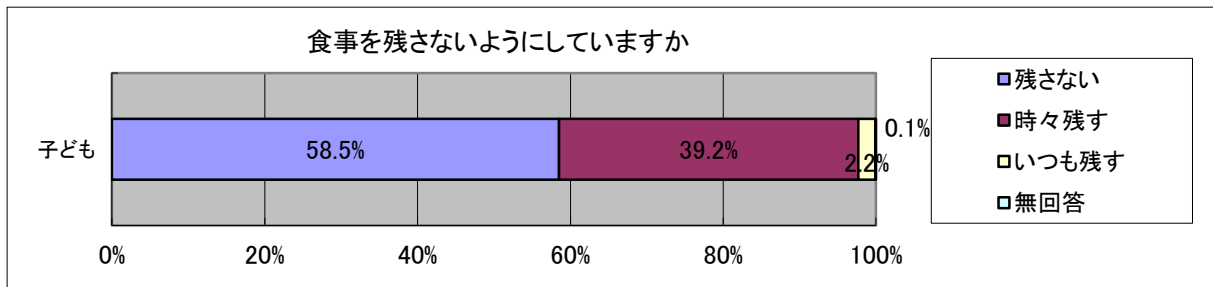
その他の回答：だいず、元気のりのり汁、いちご、えんぎやき、セロリ、ちくわ、豆腐、なす、岩国赤だいこん、かにかま、小野茶ムース、やまぐちワイン ASAGI、竜王山、山猿 等

山陽小野田市でつくられる食材・特産品の具体例(自由記載 大人)

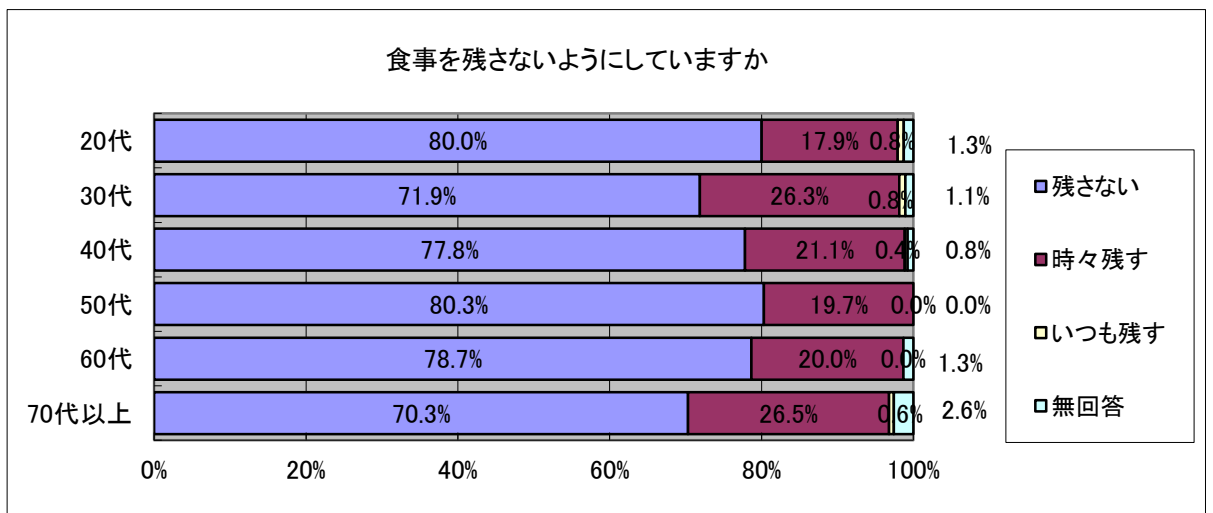
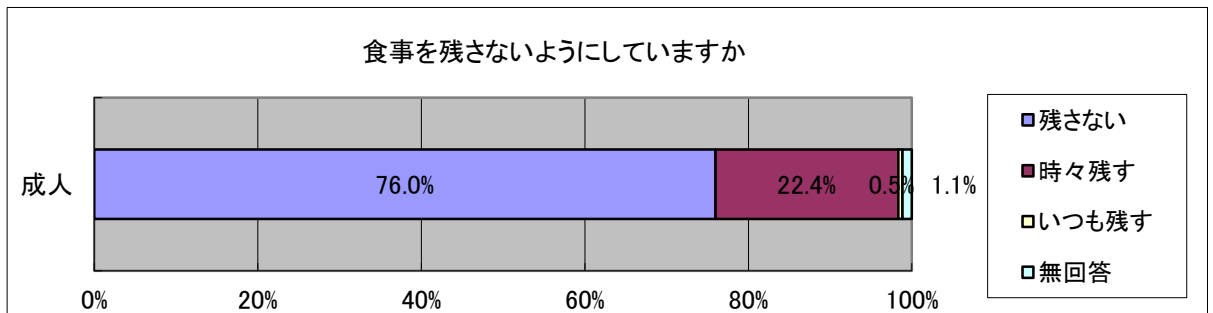


その他の回答：だいずぼん、ごろり寝太郎さん、えい、ジャム、シューロール、寝たろうもち、海藻、かにかま、ガラス、瓦そば、魚加工品、いちぢく、乾えび、ぜんまい、チシャ、つき餅、ナス、白菜、ピーマン、美東ごぼう、もみのり、野菜、わらび、山口ワイン 等

●食べ残しについて



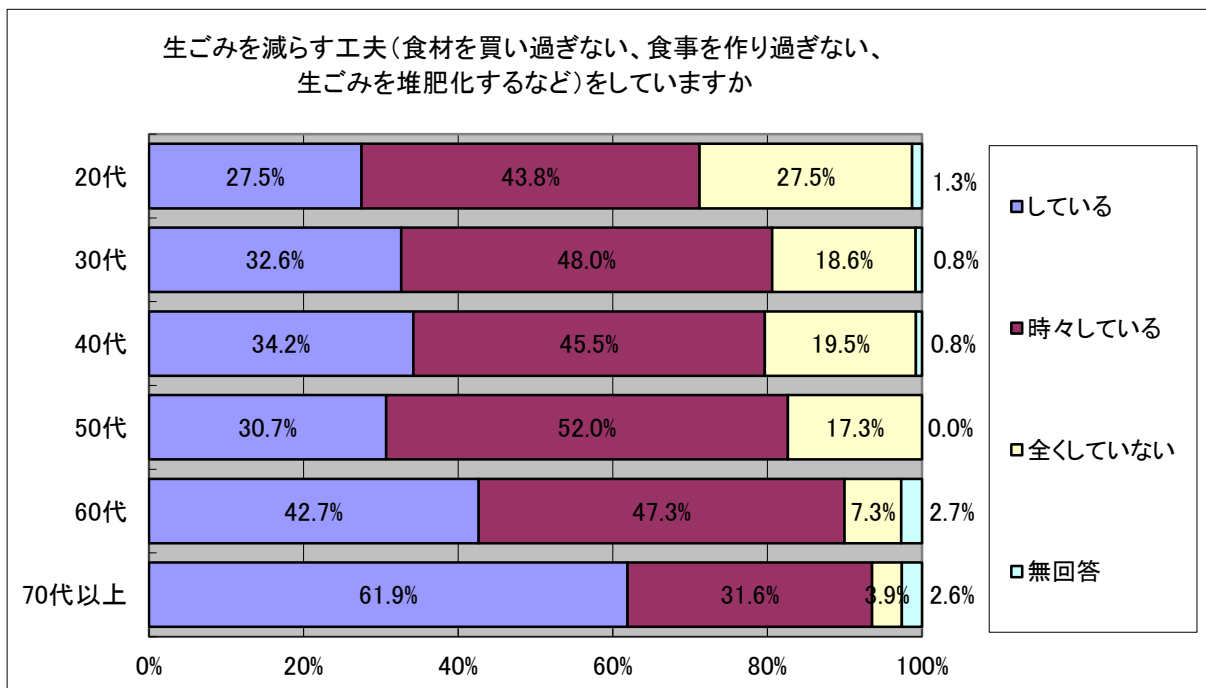
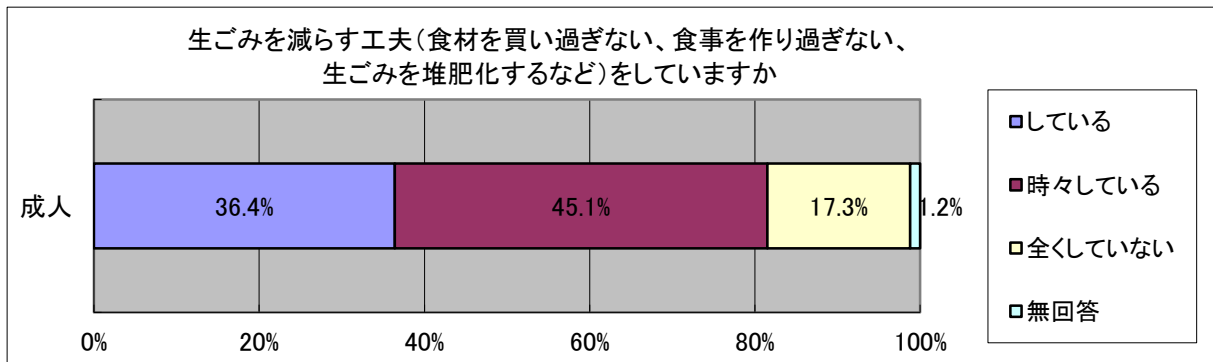
子どもでは、食事を「残さない」と答えた小学生は60.1%となっていますが、中学生では56.9%と、小学生に比べると少なくなっています。



成人では、食事を「残さない」と答えた人は、76.0%となっています。

年齢別で見ると、「残さない」と答えた人は、20代80.0%、30代71.9%、40代77.8%、50代80.3%、60代78.7%、70代以上70.3%となっています。

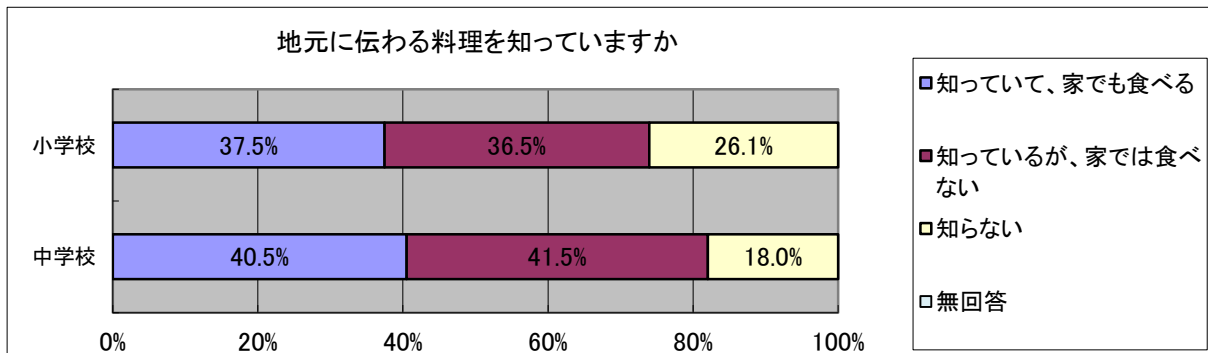
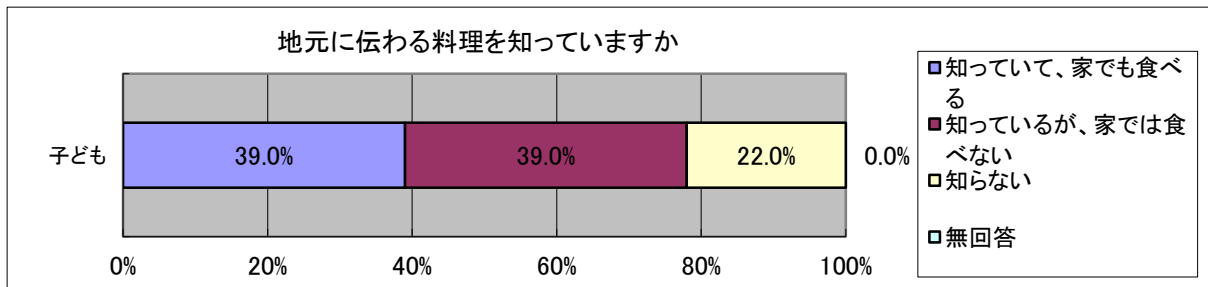
●生ごみに対する意識について



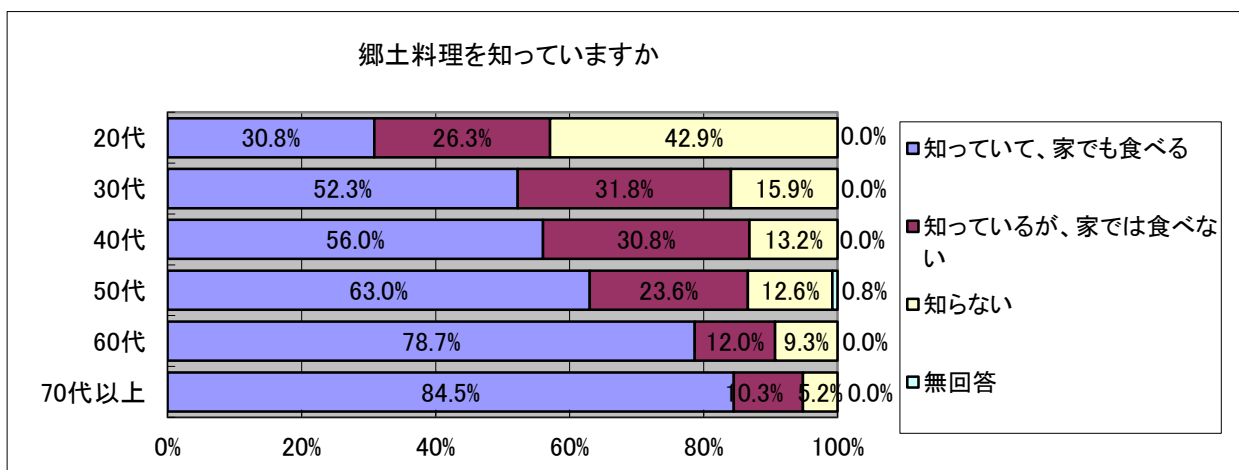
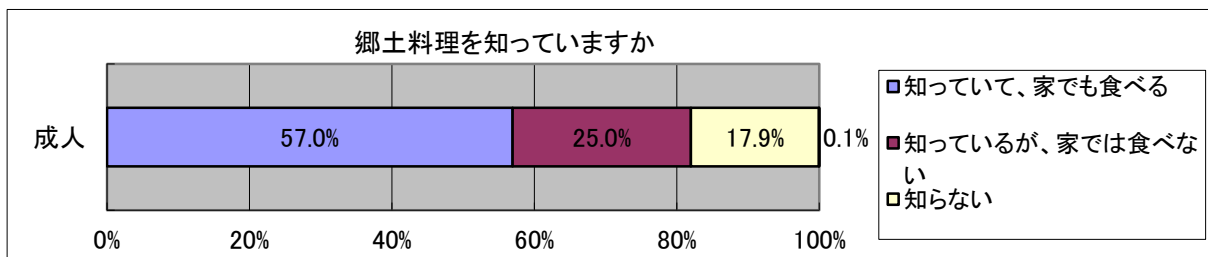
成人では、生ごみを減らす工夫を「している」と答えた人は、合わせて8割を超える結果となっています。

年齢別で見ると、「している」と答えた人は、20代 71.3%、30代 80.6%、40代 79.7%、50代 82.7%、60代 90.0%、70代以上 93.5%となっています。年齢を重ねるにつれ、増加する傾向となっています。

● 地元に伝わる料理について



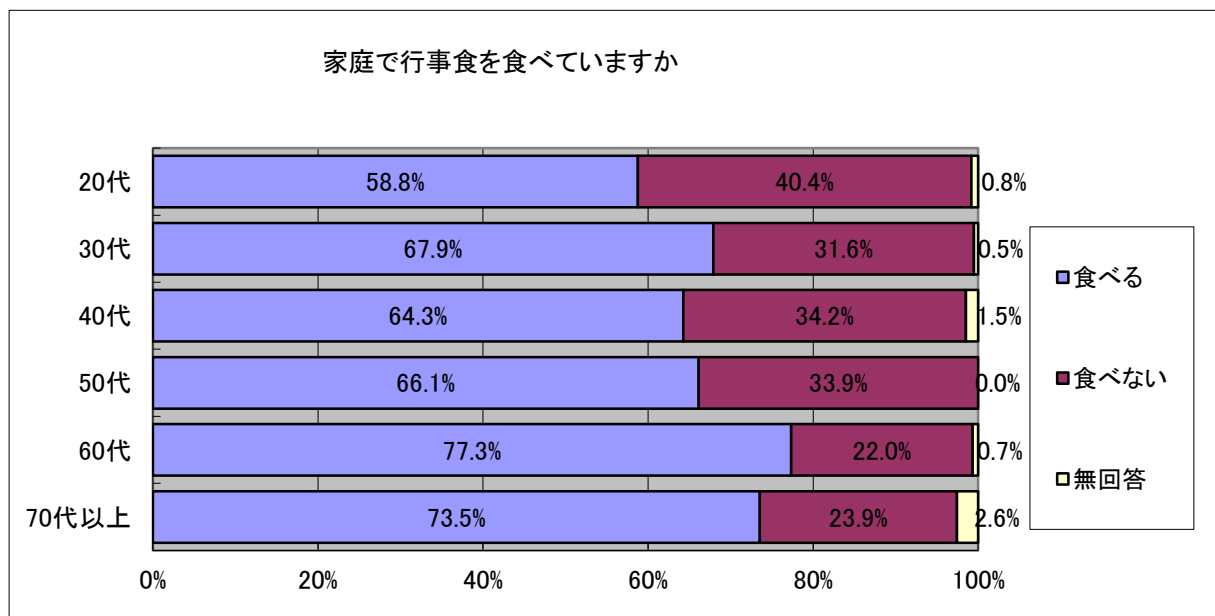
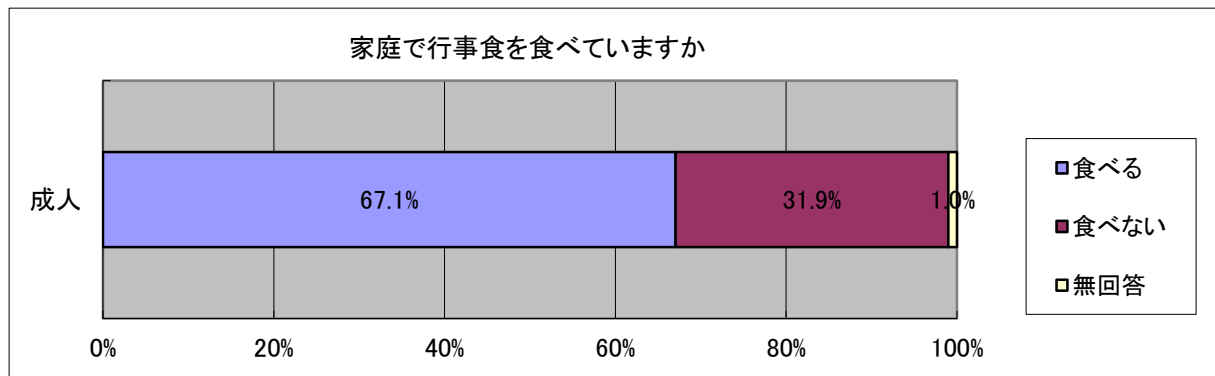
子どもでは、地元に伝わる料理を「知っている、家でも食べる」と答えた小学生は37.5%となっていますが、中学生では40.5%と、小学生に比べると多くなっています。



成人では、郷土料理を「知っている、家でも食べる」と答えた人は、57.0%となっています。

年齢別で見ると、「知っている、家でも食べる」と答えた人は、20代が30.8%と最も低く、30代52.3%、40代56.0%、50代63.0%、60代78.7%、70代以上84.5%でした。年齢を重ねるにつれ、増えています。

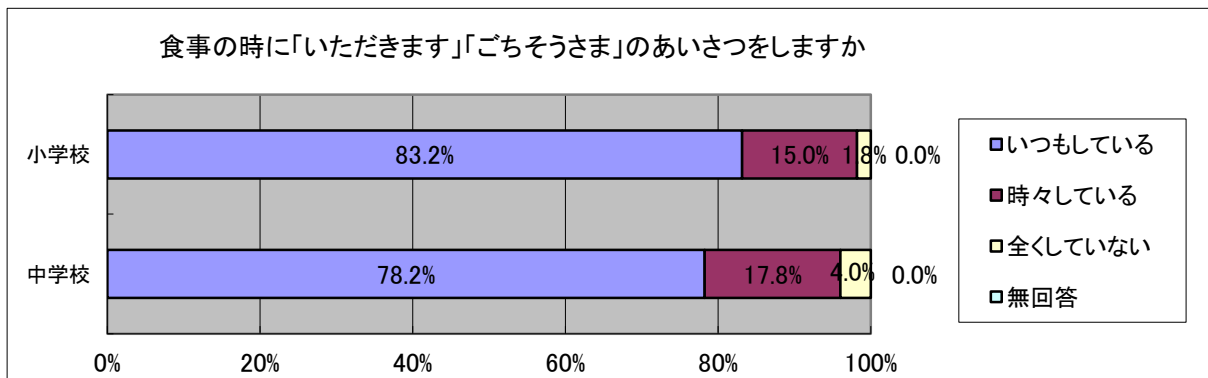
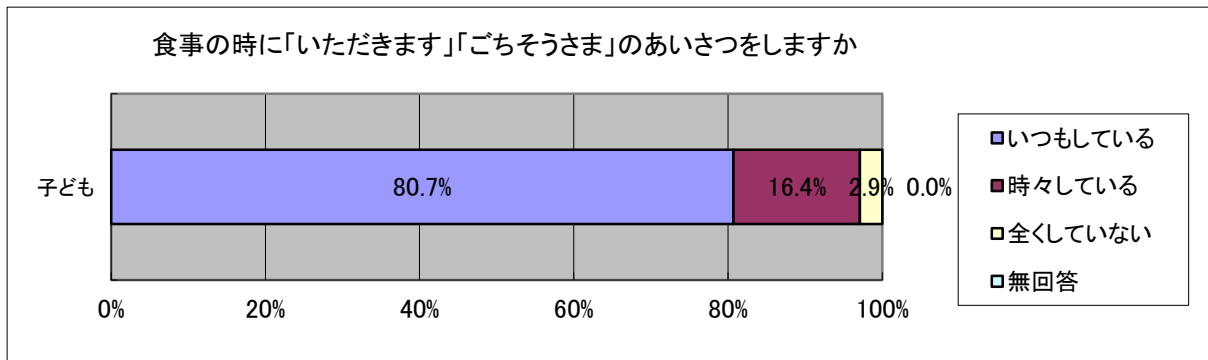
●行事食について



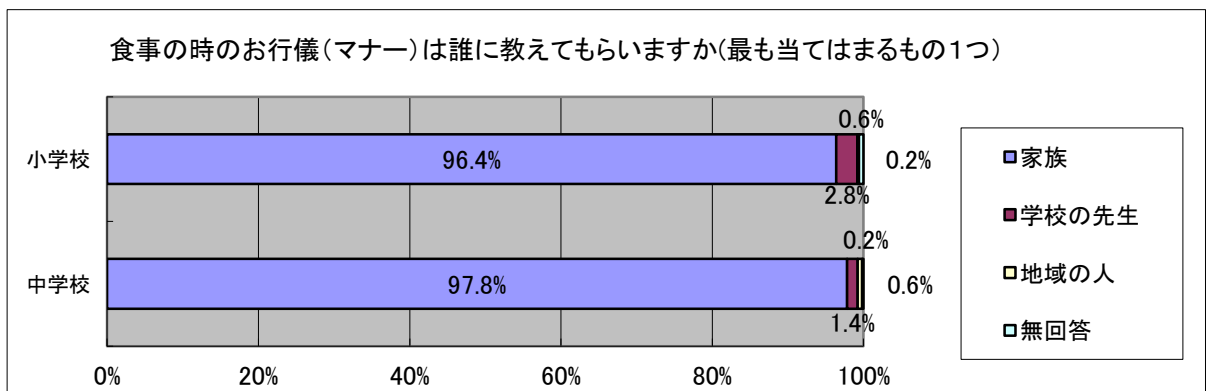
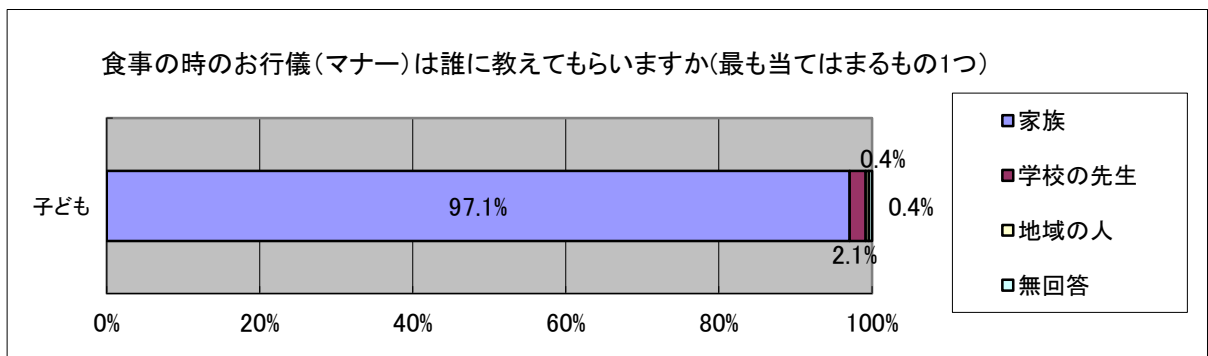
成人では、家庭で行事食を「食べる」と答えた人は、67.1%となっています。

年齢別で見ると、「食べる」と答えた人は、20代 58.8%、30代 67.9%、40代 64.3%、50代 66.1%、60代 77.3%、70代以上 73.5%となっています。

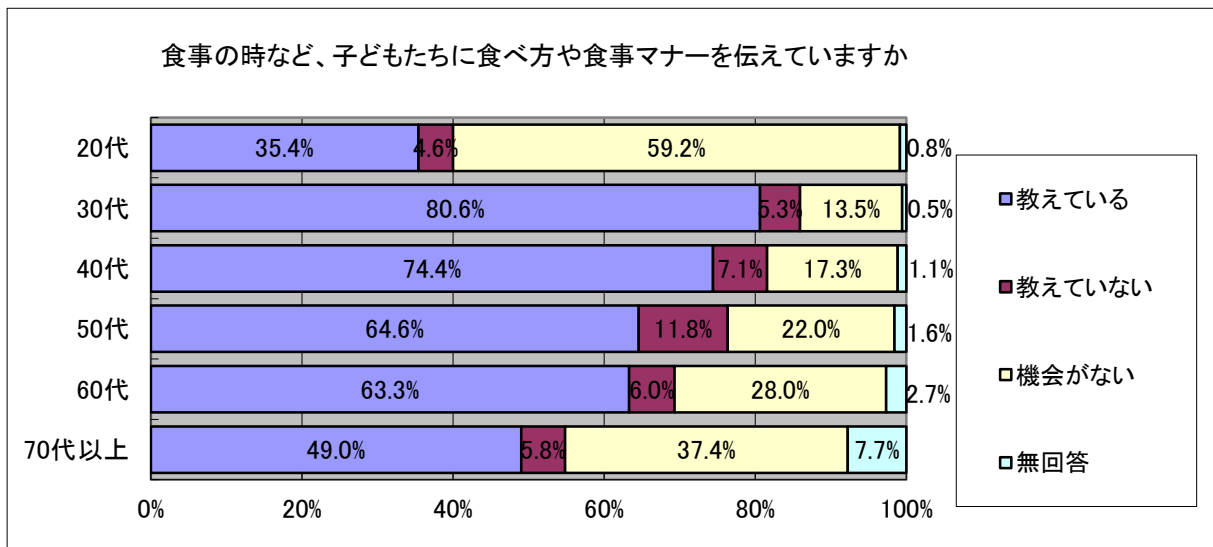
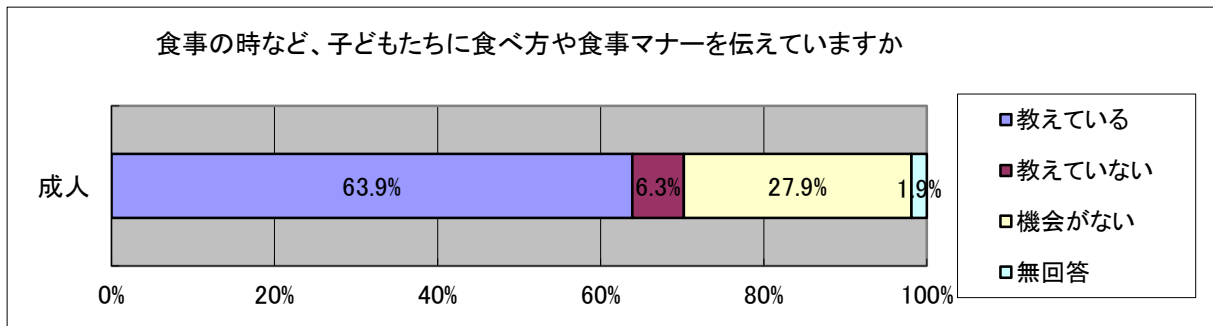
●食事のマナーについて



子どもでは、食事の時のあいさつを「いつもしている」と答えた小学生は83.2%となっていますが、中学生では78.2%と、小学生に比べると少なくなっています。



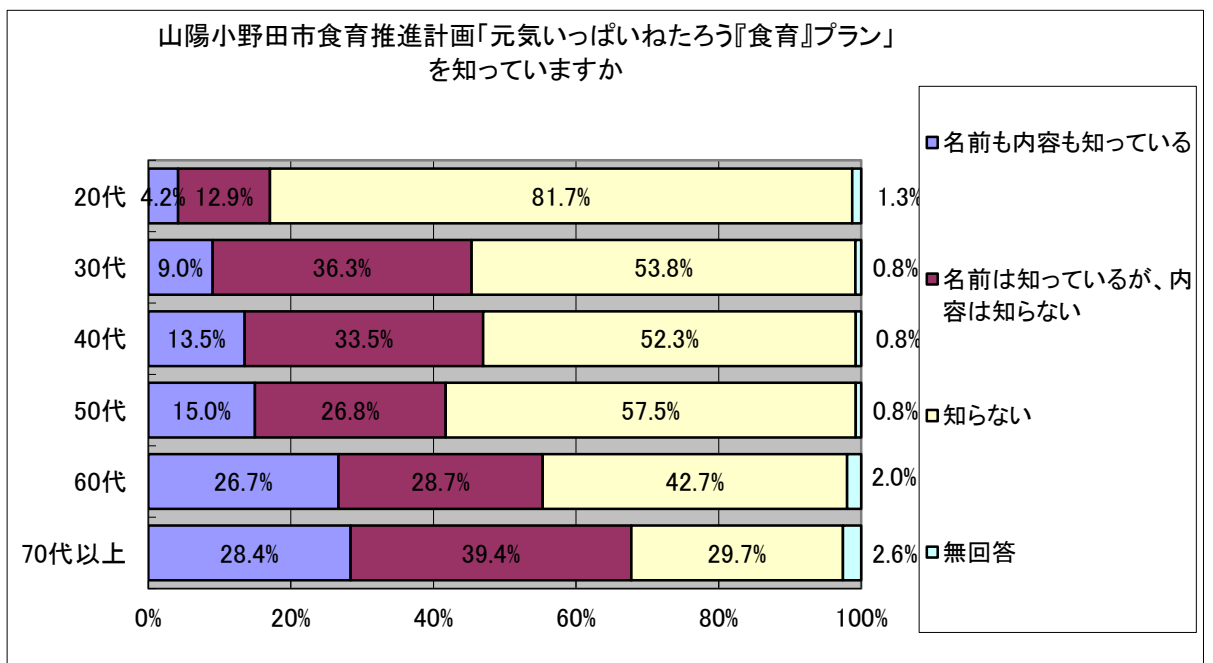
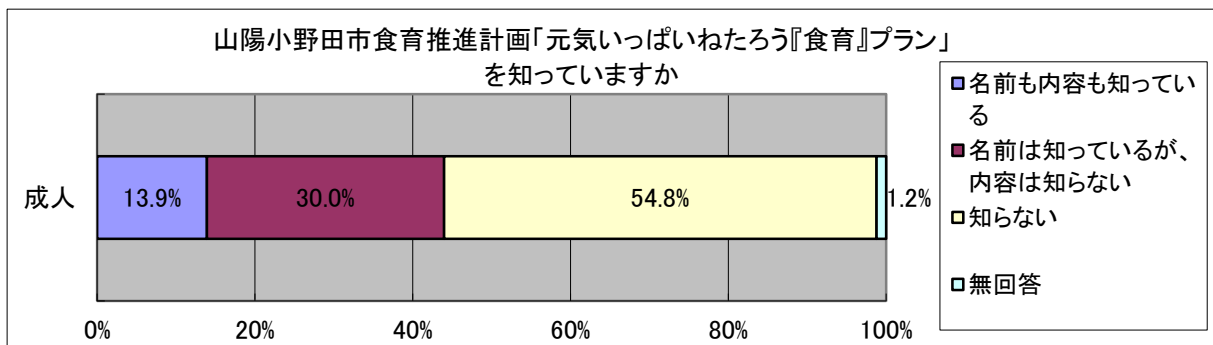
ほとんどの子どもが、食事の時のマナーを「家族」から教えてもらっていると答えています。



成人では、子どもたちにマナーを「教えている」と答えた人は63.9%となっています。

年齢別で見ると、「教えている」と答えた人は、20代35.4%、30代80.6%、40代74.4%、50代64.6%、60代63.3%、70代以上49.0%となっています。30代、40代が最も高い結果となっています。

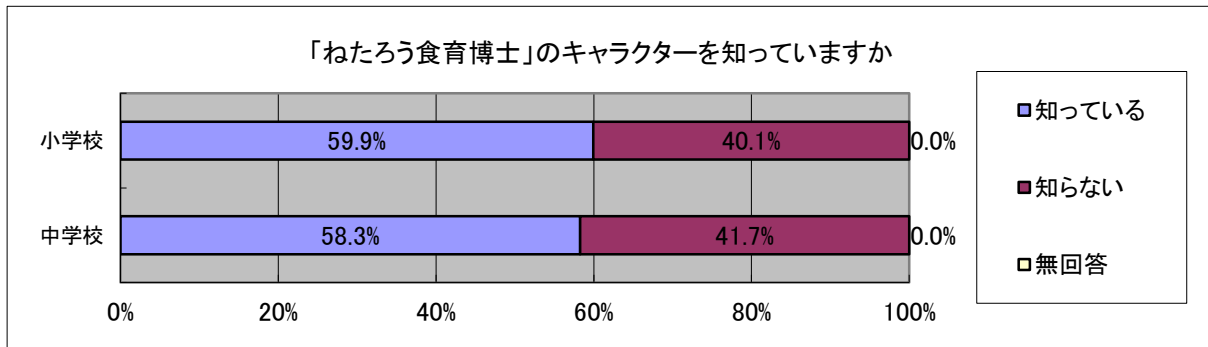
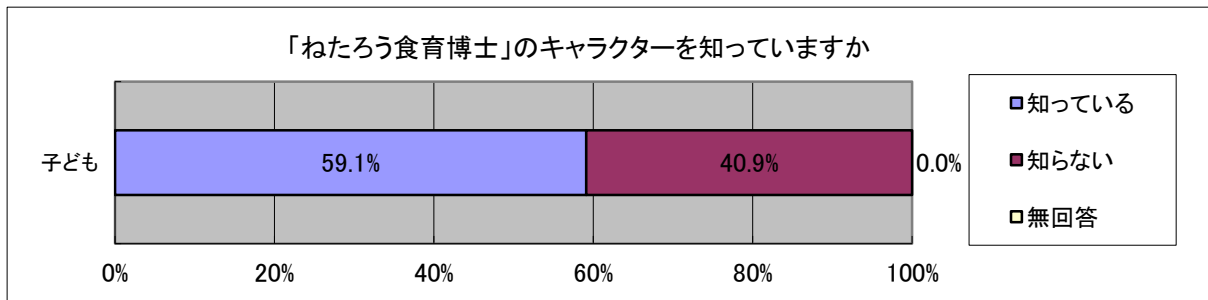
●山陽小野田市食育推進計画について



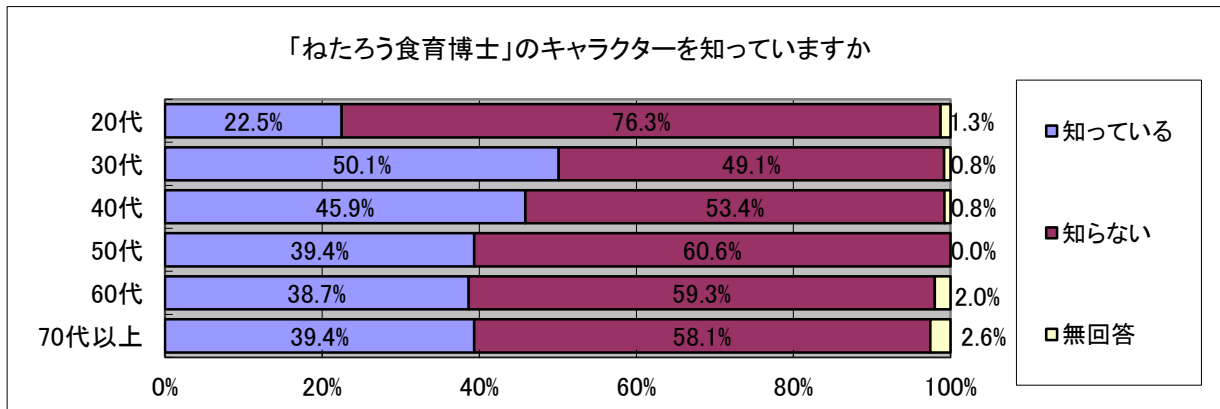
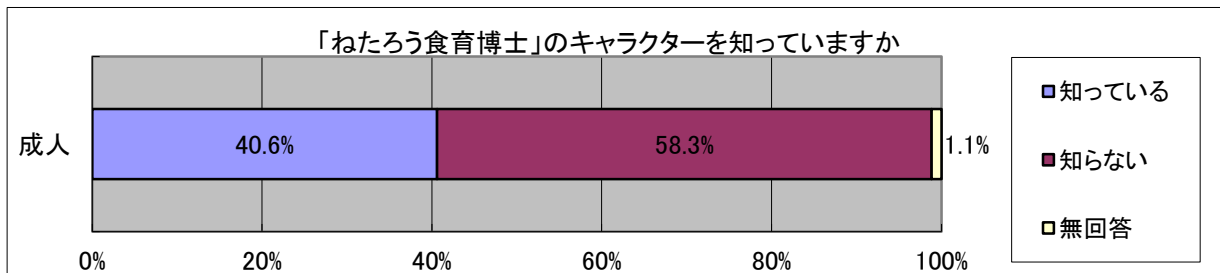
成人では、山陽小野田市食育推進計画について「名前も内容も知っている」と答えた人は13.9%となっています。

年齢別で見ると、「名前も内容も知っている」と答えた人は、20代4.2%、30代9.0%、40代13.5%、50代15.0%、60代26.7%、70代以上28.4%となっています。年齢を重ねるにつれ、認知度は増えています。

●ねたろう食育博士キャラクター



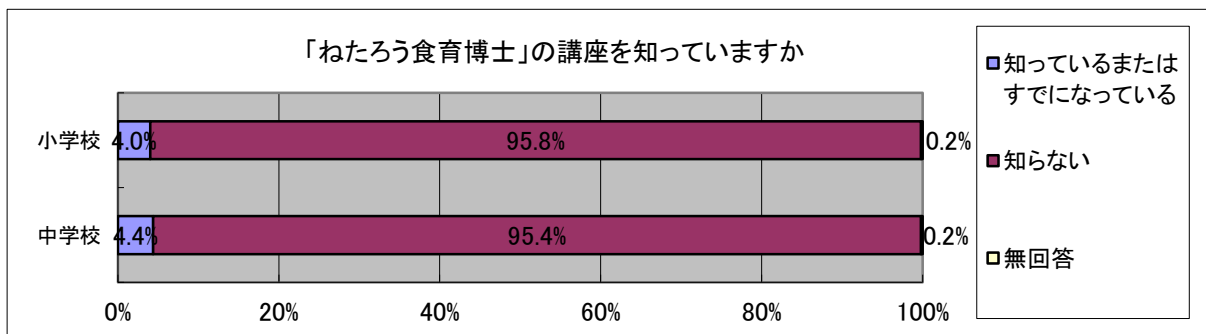
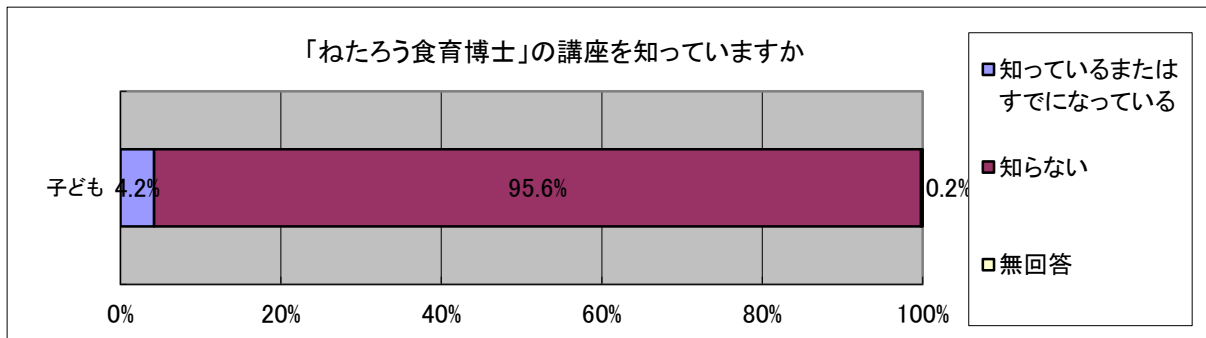
子どもでは、ねたろう食育博士のキャラクターを「知っている」と答えた小学生は59.9%、中学生は58.3%となっています。認知度は約6割となっています。



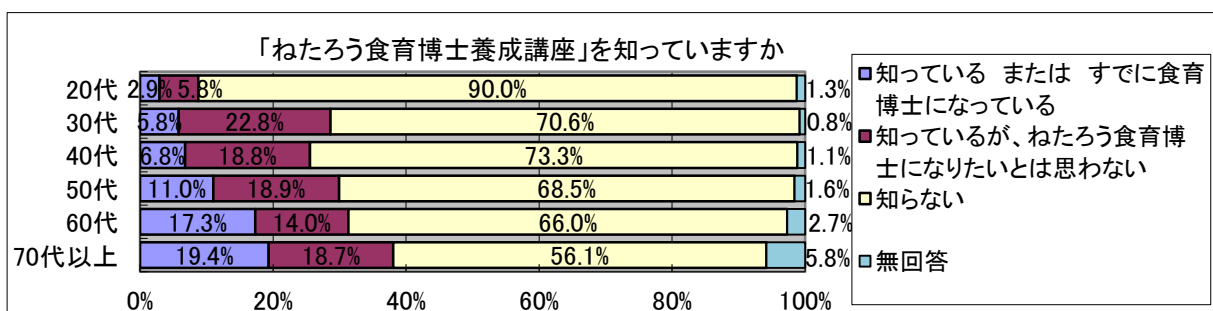
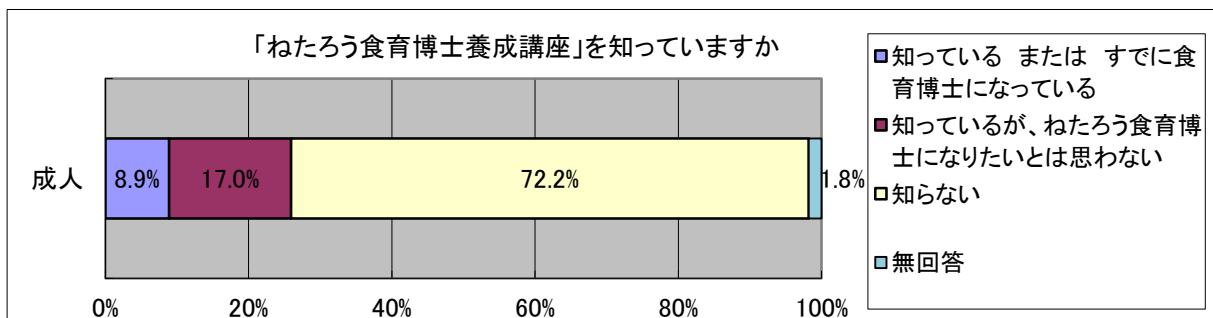
成人では、ねたろう食育博士のキャラクターを「知っている」と答えた人は、40.6%となっています。

年齢別で見ると、20代22.5%、30代50.1%、40代45.9%、50代39.4%、60代38.7%、70代以上39.4%となっています。30代、40代の認知度が最も高くなっています。

●ねたろう食育博士養成講座



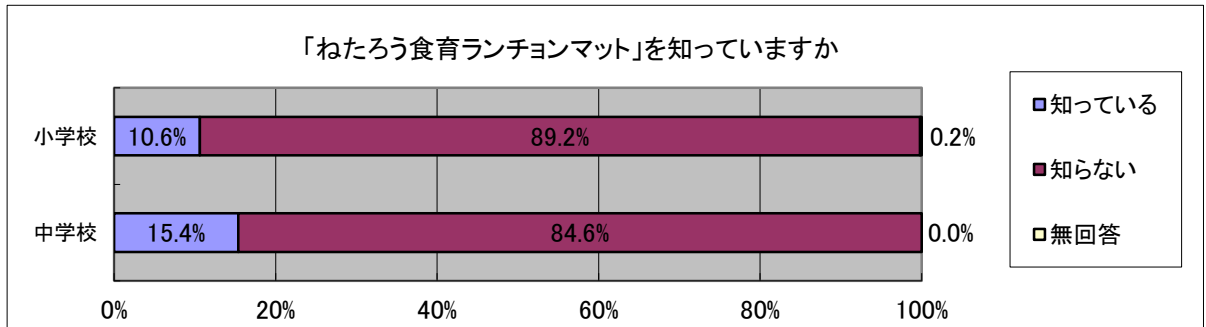
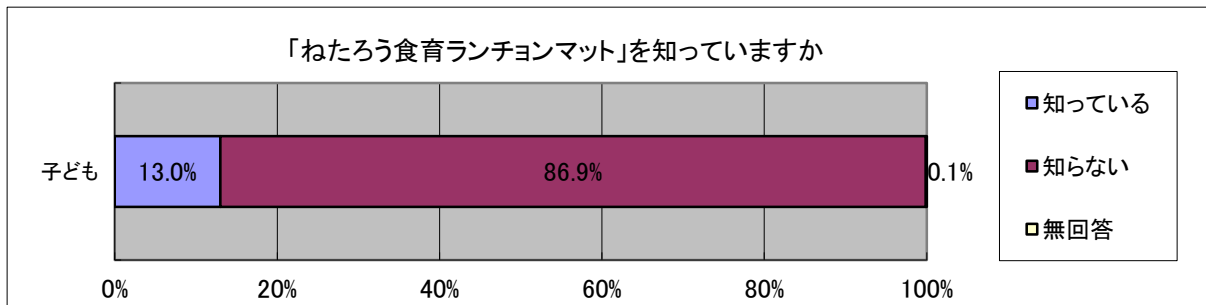
子どもでは、ねたろう食育博士の講座を「知っている またはすでに食育博士になっている」と答えた小学生は4.0%、中学生は4.4%となっています。



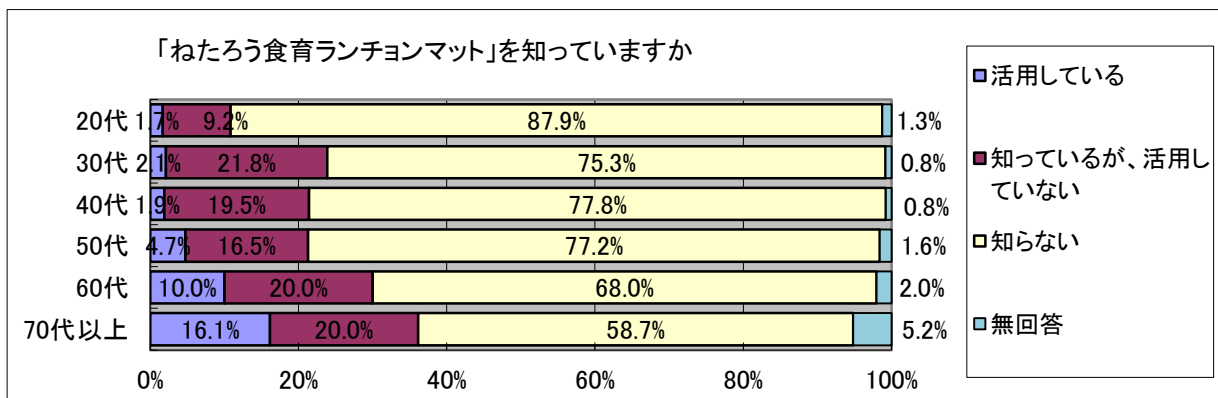
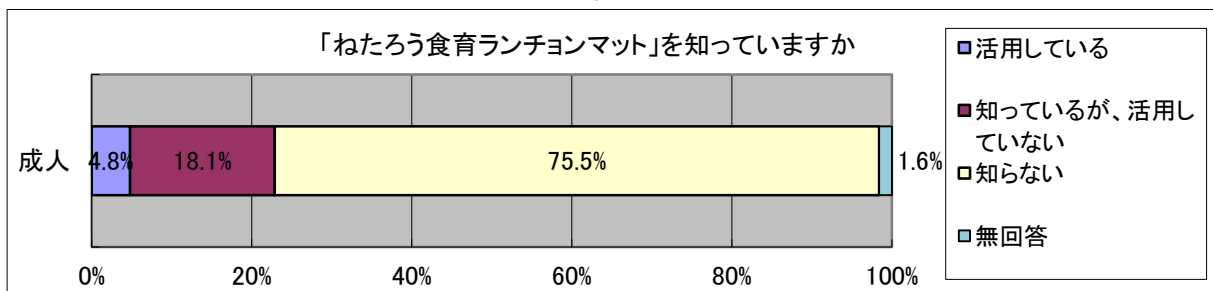
成人では、ねたろう食育博士養成講座を「知っている」と答えた人は、合わせて25.9%となっています。

年齢別で見ると、「知っている」と答えた人は、20代8.7%、30代28.6%、40代25.6%、50代29.9%、60代31.3%、70代以上38.1%となっています。年齢を重ねるにつれ、増加する傾向となっています。

●ねたろう食育ランチョンマット



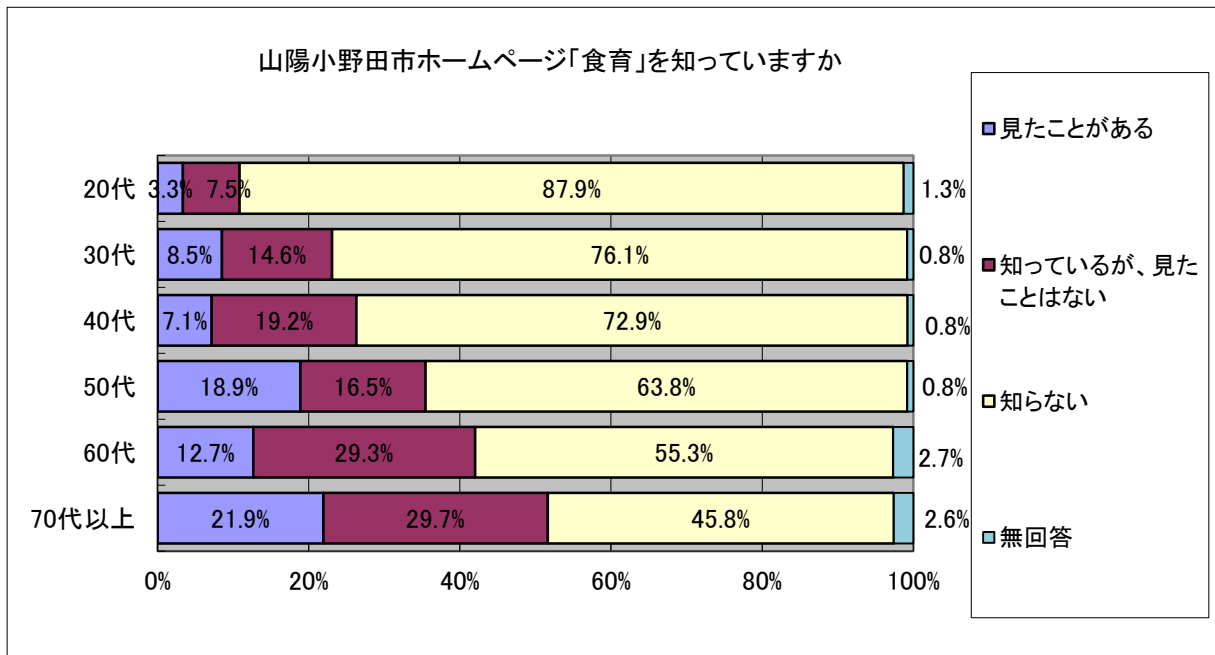
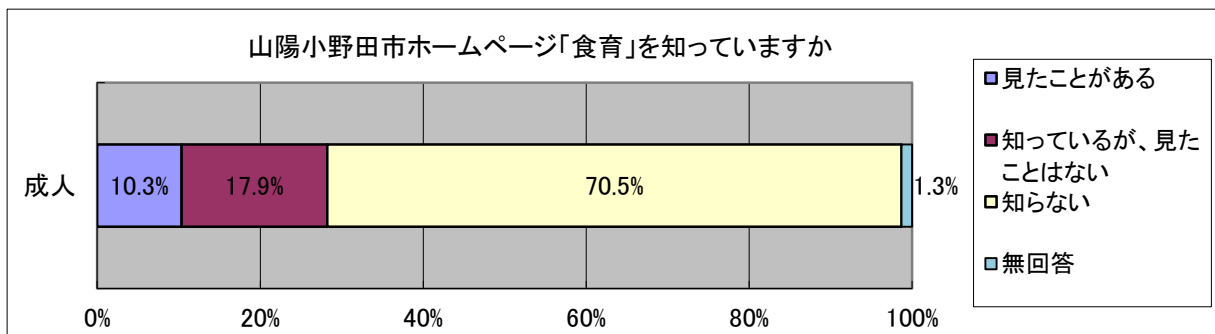
子どもでは、ねたろう食育ランチョンマットを「知っている」と答えた小学生は10.6%、中学生は15.4%となっています。



成人では、ねたろう食育ランチョンマットを「活用している」「知っているが、活用していない」と答えた人は、合わせて22.9%となっています。

年齢別で見ると、「活用している」「知っているが、活用していない」と答えた人は、20代10.9%、30代23.9%、40代21.4%、50代21.2%、60代30.0%、70代以上36.1%となっています。

●山陽小野田市ホームページ「食育」について



成人では、市のホームページ「食育」を「知らない」と答えた人は、70.5%となっています。

年齢別で見ると、「知らない」と答えた人は、20代 87.9%、30代 76.1%、40代 72.9%、50代 63.8%、60代 55.3%、70代以上 45.8%となっています。若い世代ほど「知らない」と答える人が多くなっています。